



明

柔

83,L

明治大学柔道部明柔会会報

明治大学校歌

(一) 白雲なびく駿河台 眉秀でたる若人が

撞くや時代の暁の鐘 文化の潮みちびきて

遂げし維新の榮になふ 明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

(二) 権利自由の搖籃の 歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり 獨立自治の旗翳し

高き理想の道を行く 我等が健児の意氣をば知るや

我等が健児の意氣をば知るや

(三) 靈峰不二を仰ぎつ、 刻苦研鑽他念なき

我等に燃ゆる希望あり いでや東亜の一角に

時代の夢を破るべく 正義の鐘を打ちて鳴らさむ

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

柔道部部歌

きいてみたかよ 明大の柔道部

よいよい あらよい こらよい

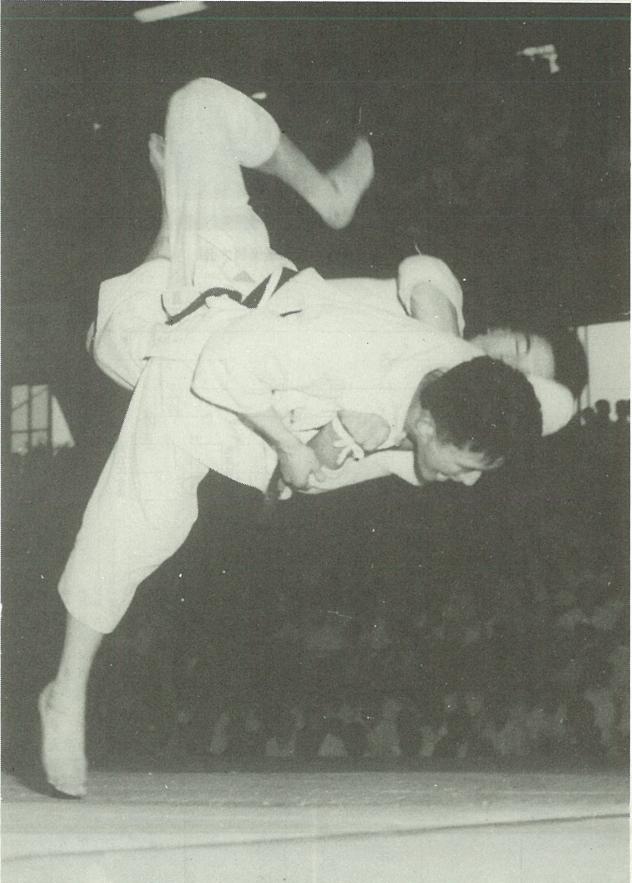
よいやの よいよい

轟く 選手のその名を

知るや よいよい

あらよい こらよい

よいやの よいよい



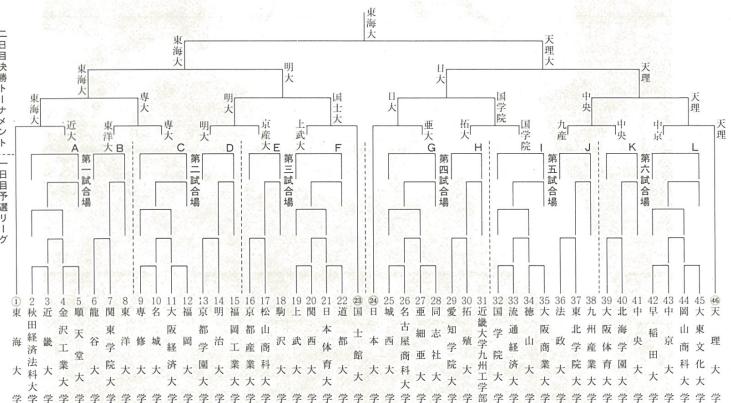
明大柔道の技 (3)
岩崎 勇の内股

(本文 36 P)

卷頭言	温古知新——明大柔道部を語る	部長 百瀬恵夫	5
座談会			
大会結果			
マネージャー奮戦記			
脚注	第十七回大会	小川登志雄	18
主催者	第十二回大会	松本順吉	18
御賛美	第三十四回大会	大村勝利	18
文書	世界柔道で感じたこと	小野瀬雅幸	18
O.B.便り	夏場	上村春樹	18
夏場	九州明柔会	鳥海又五郎	18
思ひ出	懐かしき二十四年後集い	立花敏明	18
海外の部	海外の部	小林芳昭	18
明大の技	シリアルアラビアから	松岡義隆	18
(3)	フランスで思うこと	吉田尚雄	18
36 33 32 31	31 28 28	27 24 22	14 6 5



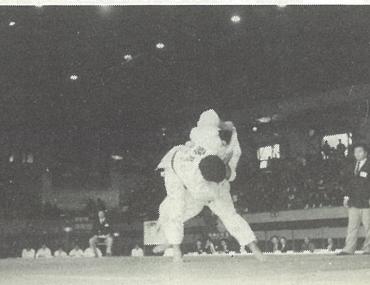
第32回全日本学生柔道優勝大会



中村対西尾(京産大)



藤鷹大外刈で中村(中京大)をとる



明高柔道部と明大柔道部	福田二朗
思い出	中島平人
厄年雑感	植草勝
武道の思い出	長山大乗
同期生	段上道夫
思い出一枚	46 44 42 41
道場往来	76 64 63 58 57 54 50
明柔人国記	——熊本県の巻——	46 44 42 41
文集	——わが青春の駿河台(2)——	46 44 42 41
明柔会幹事会(後期)	46 44 42 41
得意技の解説	足車	46 44 42 41
住所変更者名簿・新入会員	46 44 42 41
明治大学柔道部略史	46 44 42 41
編集後記	46 44 42 41



巻頭言

「間」について

部長 百瀬恵夫

人間が生活をしていく上で、大切なものは、"間"があると思つ。今ここに書いた人間といふことばも、人ととの間柄を意味するが、人ととのかかわりを良好に保つには、"間"を大切にすることであろう。「親しき中にも礼儀あり」といった北条直時のことばも、親しき間柄であつても、不作法であつてはならないことを説いてゐる。

"間"を置くとか、"間"を保つということとは、一種の調和であり美である。それがくずれることになると、秩序は乱れてしまう。"美は乱調にあり"とは、小説での描写であるが、アブノーマルの中にも美がないわけではない。"間"は、人間関係ばかりではなく、スポーツ、音楽、芸術、あるいは衣食住のすべての生活面で重要な要素であるので、この"間"をいかにすばらしいものとすることができるかで人生も変わるといふものである。

一方、"間"の取り方を誤ると事故(過失)や不正(故意)を起こしたりもする。大きな意味で、"間"をとらえると倫理道德の基底をなすものであり、法律や規則は人間の行動について、一定の"間"を規定したものということもできよう。交通規則も事故防止のための"間"の設定である。もし、交通信号が"赤"と"青"だけであるとすれば、事故を起こしてしまう。"黄"があるからこそ事故を防止できるのである。これこそが"間"といふべきものであろう。

人間関係はもとより、スポーツ、音楽、芸能においても、"間"の追求は、真善美的の探求もある。わが国の伝統芸能である邦楽においては、調子や拍子の変化するところでの、"間"がきわめて重要な要素となつてゐる。波長に合わせたり、リズムにのつたり、のせたりするのは、"間"の調整である。それは必ずしも相手がなくともできることがある。自我の確立と共に社会性を有する人間となるためには、"間"を欠いてはならない。

わが国では、調子はそれや拍子抜けしたような人物を称して、"間抜け"。というのは味わいのある言葉である。"間"が保てない人間は、常人ではないといふことになるのである。常識人であるとの原点が、"間"についての理解と行動のできる人といふことになるのである。近代化・合理化的名のもとに、"間"が抜けていく現代社会は、不協和の社会とでも呼ぶことができよう。

座談会

新知古温

明大柔道部を語る

出席者 姿 節雄 神永昭夫 関 勝治 篠巻政利

明治は遠くなりにけり
〈収録 編集 河田〉

編集部 中村草田男の句ではありませんが、明治は遠くなりにけりで明大柔道部の栄光も過去のものとなりかけております。

日本学生大会の優勝は七年以來個人のタイトルは五一年の加瀬君が最後、とうことで、伝統の明治も無冠の帝王になりますがつて新しい訳です。漸く今は個人の八六キロ級で朝飛君が優勝し、团体戦では準決勝で優勝チームの一で惜敗したという事で、名門明大柔道部復活かといわれております。それはともかくとして、今日の座談会は、表題の古きを温めて新しきを知る



神永 今、姿先生から戦後の団体戦の記録をふりかえってもらつたのですが、個人戦をふりかえりますと、二六年の第一回大会には金子先輩が優勝し、二七年に曾根先輩、二八年に末木先輩、二九年には石橋毅先輩と四連覇し、そのあと三年に私は

が優勝し、三四年、三五年と重松(正)

君が連続優勝、三七年には朝田君。三八年からは体重別となり、重量級で石原君、三九年は同じく重量級で上野君、無差別級で坂口君

四十年と山本君が二連覇、同じく四年に重量級で須磨君、四年には軽量級で同じ須磨君、無差別で篠巻君、四年には前年と同じく須磨君、篠巻君、四五年には選手権の部で原岡君、四六年に中量級で原君、四年に選手権で上村君、五年に中量級で加瀬君が優勝した。この加瀬君を最後に優勝から遠ざかったわけですね。

編集部 復活当時の記録を見ますと第四回大会には四校戦もあり、他の大学の柔道部も充実し、部員の数や道場の設備等で明治をしのぐところも出ていたようにきいて

ます。その中で何故明治が群を抜いていたのかということなのですが、選手のいわゆる基本的な質がよかったのか、それとも何か明治独特の練習方法があったのか。又さきほど先生のお話の中で、先輩方の物心両面に亘る援助があったとありましたが、その頃の話を少しくわしくお願いします。

姿 復活の前は古賀君とか堀口君とかの復員組の連中が集まってきて、柔道が禁止になつておったので第2レスリング部とかいう名

称で地下の道場でやつていたわけだが、その頃の道場はひどかったと豈んかもボロボロにくつておおり、とてもひどい時期が比較的早くから始めた。この立ち上りの時期が比較的早くからたといふのが、一つにはよかつたのだろう。そういう者が受け入れれる勢が明治には一応あつたわけだ。生活の面でも今なくなられた鶴見さんとか、この俺ながら決して御苦労されていて、生方にお集まり頂き、漸く名門復活のきさしさを見て来た大柔道部の、様々な課題について語つていただきました。学生諸君は、文集中に出て来る先輩方の輝かしい実績ときびしい研鑽を、今一度かみしめて今後の展望をはかって頂きたいた。

尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。

けだ。それと同時に、当時は各県に有段者会というのがあり、それが、戦後全柔連となつたのだが、その組織の中に明治出身の有力者が多かつた。北海道の松崎タッペイ(太平)さん、東京の鈴木潔治さん、川上忠さん、大阪の浜野ショッペイ(正平)さん。北信越の入江松次さん、九州の杉町仁市さんとかの古い先輩達が地方のいい学生を明治に推薦してくれた。こうゆつてことで明治には素質のある学生が集まつて來たし、又今いたようによつては、表題の古きを温めて新しきを知る

第一回の学生選手権(個人)が行なれた。团体戦は二七年から始ましたが、明治は二七年、二八年、二九年と三連覇、三年と連覇、また三年六年から三年までの四年と輝かしい歴史を作つた。そして四三年、四年、四年と優勝したわけだが、それ以後は低迷を経、優勝から遠ざかっているというのが現状だね。復活直後二七、八年の学生の練習や生活をぶりかえつてみると、今様な経済的に恵まれた時代とは違い、衣食住に不自由するという状態であったが、先輩方の暖かい応援と部員全體が一丸となって精進した結果がこの様な成績を残した。一言でいえばこうゆうことだらう。

権(個人)が行なれた。团体戦は二七年から始ましたが、明治は二七年、二八年、二九年と三連覇、三年と連覇、また三年六年から三年までの四年と輝かしい歴史を作つた。そして四三年、四年、四年と優勝したわけだが、それ以後は低迷を経、優勝から遠ざかっているのが現状だね。復活直後二七、八年の学生の練習や生活をぶりかえつてみると、今様な経済的に恵まれた時代とは違い、衣食住に不自由するという状態であったが、先輩方の暖かい応援と部員全體が一丸となって精進した結果がこの様な成績を残した。一言でいえばこうゆうことだらう。

ということから、戦後の学生柔道復活当時から今まで、三十多年師範として柔道部を指導してこられた姿先生に、濫觴期の柔道部を見せて来た大柔道部の、様々な課題について語つて顶きました。学生諸君は、文集中に出て来る先輩方の輝かしい実績ときびしい研鑽を、今一度かみしめて今後の展望をはかって頂きたいた。

尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。尚出席予定の上村助監督は、全米国際大会のコーチとして渡米しており欠席しました。

権(個人)が行なれた。团体戦は二七年から始ましたが、明治は二七年、二八年、二九年と三連覇、三年と連覇、また三年六年から三年までの四年と輝かしい歴史を作つた。そして四三年、四年、四年と優勝したわけだが、それ以後は低迷を経、優勝から遠ざかっているのが現状だね。復活直後二七、八年の学生の練習や生活をぶりかえつてみると、今様な経済的に恵まれた時代とは違い、衣食住に不自由するという状態であったが、先輩方の暖かい応援と部員全體が一丸となって精進した結果がこの様な成績を残した。一言でいえばこうゆうことだらう。

あんなに強いじゃないか、お前達が、道場が

す。おはづかしい話ですが……

あたつていったものです。

明治道場はひどいことがあったが、それくら
い道場はどこにもない。なぜなら、今
の道場は他校とくらべるとだいぶ狭くて古いで
すが、これは成績の理由にはなりませんね。
篠巻 それはそうです。たしかに、東海国

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a striped tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

神水　今のお話のように道場の設備などは悪しかったのですが昔の明治には、皆が強くなりたいという雰囲気が道場に溢れていましたね。まあ部員も多いために本当に強くなりたいと思う者が稽古ができなかつたですね。

そうすると今の道場に移つて四、五年たつた頃だ。丁度神永君が監督のころだね。——
捲巻 そうですね。私は一年で監督になられたのは
私が二年の時ですから、四年です。第二期は
黄金時代の関先生輩達が出された翌年からだ
たと思います。

稽古あるのみ

編集部 今でこそ運動部に合宿練習はつきも

生から一つ。たときにいいますが、その辺の話を神永先生が入学した年の三十年は全日本大会（選手権）で日本で負け、それまで続けていた三連覇ストップがかかった年でした。そしてその翌年も負けで部の雰囲気も停滞ムードだとかいうか、何か乱れて来たという感じが出てきていますね。それで先輩達が「これではいけない、何うすればよいか」という事を始められたのが第一回の宿舎でした。それでも遠征試合は毎年ことはやっていたのです。

それが五十何帖かの道場でやるわけだから、本当にやる気のあるものしかなかつたから、だからなるべく思つるものでは道場の稽古だ。けで満足出来ず、終つてから講道館に行つたものだ。それくらい熱心な部員が多かったのが強かつた理由の一つだらうね。今の学生にはこういった熱心さが足りないと思う。これは明治に限つたことではないが、時代の風潮といおうか、このへんが昔の選手とはつきり違う点だな。体は皆デカイのだが……

神永 私が入学した時も地下の道場だつたのですが、その頃はいつもOBが大勢みえていましたね。八島、小田、葉山、久米、姿の先生方はほとんど毎日顔を見せられましたし、又地方から出て来た実業団や県警の人達がたえず練習にきていました。部員はみな明治の柔道は日本一だという誇りをもつていましたから、よそから来られた人たちに明治のきびしさを教えてやろうと、ものすごい気迫でぶつかりついていたわけですね。当時の全日本チャンピオンだった吉松さんや巻健三さんでさえ、吉松古だつたが故に吉松さんまでいざなつたのです。とにかくこれから来る人こまがびしらじらです。

が、警視庁や講道館よりもしろ集まって来たのが、それだけのもので、今日本クラシック対等に稽古が出来るものがたくさんいたね。

編集部 今までのお話で、戦後復活期の部の様子がわかりましたが、今の道場に移つてからも、三年、三年、と連続し、又三六年から四連覇と優勝を重ねていくのですからやはり一言でいえば伝統を受けついでいたと。いうことでしようか？

篠巻 私は四連覇直後の入学ですが、今、姿先生や神永先生のそばで、たとうやかな雰囲気で私の一年のころまではありましたね。部員数が多く、稽古を本当にやりたいと思うのしか出来ないという活気を帶びた道場でした。私が上級生になった頃から部員の数がだんだん少なくなつていった様な気がします。

編集部 そうすると篠巻監督の時代がその後のさびしい状態の幕あけということになりますでしょうか。もつともその後も河原君、岩田君、優盤島君、村田君、重松君等の活躍で何度も優勝をしていましたね。

答 篠巻君が入学したのは四十年だったからね。

でも遠征試合の様なことはやっていたのです
が、本格的な宿練習というのはこの時が最
初です。三三年に曾根先輩の郷里（埼玉県
寄居町）でやったのですが、肉体と精神の限
界に挑戦する猛練習ということで、このとき

から合宿練習制度がとり入れられたのです。

姿 そっか、曾根君のところへ行ったのは三
年だったのか。その前に千葉の茂原で合宿を
やったことをやったことがあったが、これは
系統だったものではなく、食糧事情の悪い頃
で、食い物の確保の方がいそがしかった。よく
いもを食つたものだった。合宿といえば二十七
年に北海道へ遠征したことがあつたな。キャラ
ブテンが金子君・神田君が四年生、三年生で
曾根君・門脇君・大野君、下級生で辺川欣
治(政)、岩崎の諸君がいたな。こうゆう連
中と北海道を試合して回つたのだが、合宿と
なれば三年のあれがはじめてだらう。
神永 だと思います。

編集部 も関西遠征があり、広畠で練習をしたことがあつましたが、本格的なものは三年が始めた
中と北海道を試合して回つたのだが、合宿と
なれば三年のあれがはじめてだらう。

神永 そうです。遠征合宿は私が下級生の時
も曾根君、門脇君、大野君、下級生で辺川欣
治(政)、岩崎の諸君がいたな。こうゆう連
中で活動を入れることになったのですね。結果的
には、それが運敗して意氣消沈している部
門勝負前監督遡れて出席



五名出場していますが、このうち五名（関、山本（忠）、坂口、村井、島海）が現役学生だつたんですね。明治が名実ともに頂点いたこの時期のこととは、只合の記録だけでなく、どうしてそれをしなかったかを、今の学生達に知らなければならぬと思います。さてよ

き時代の話が進みましたので、気が重いのですがここで話題を低迷期にうつします。

姿、その話題に入る前に先の話につづくわえると、俺は、まず二七年の第一回大会に優勝した時に、実は十連覇の目標をかげたんだ。

そのため俺は一生懸命にアタッカムだつたし、又、十連覇の自信もあったよ。三十年の大会を決勝で落し、十連覇どころか四連覇でつまづいてしまった。しかしこの四連覇は実は達成していたと今でも信じている。この大会の決勝で石橋君が逃げまわる日の大将投げに投げたのだが、すべて場外に飛れた。この時の主審の判定には、今だに納得出来ないのが、今の審判規定なら楽勝のケースだった。しかし、俺はこの時勝ち続けるということは本当にたいへんことだと思ったね。

は一応しっかりしていた訳です。澄水園、姿寮がなくなり、OBの皆さんの努力で急遽八幡山に宿舎所を建てていただいたのですが、問題はこの八幡山にも自黒にも、かっての姿先生、鶴見さん、小田先生、工藤先輩の様に学生の生活を見て下さる方々がいないということです。明治の柔道部に限らず、今の若いものは誰かが見てやらなければダメなんですね。自主性がないんです。逆に素直な面はあるのです。私も、毎日一諸に居ることが出来れば、もっと充実した生活や、トレーニングが出来るものと悩んだものでしたが、今まで、なりませんでした。今の学生は小学校で高校と、そうゆう過保護の生活環境で育つて来たので、指導するものもある意味での意識改革をしなくてはならないと思っています。神永、たしかにかつての明治はその他の大勢をきらう、よい意味での一匹狼の集団であったと思うんです。だからひと度道場に入れば、同級生であろうと親しい者であろうと決して馴れ合のムードはなかった。密かに自分だけのトレーニングをしたり、街を歩いていてもそれ達人の重心の移動を考えたり、電車のつり革に片足で立つてつかまつたり、自分なりに努力していたのです。明治の柔道部

低迷を脱するには

編集部 優勝から遠ざかってしばらくになりますが、この低迷の主たる原因はやはり入学難い部員の減少ではないませんか。

神永 たしかに今は入学がむずかしくなっておりますが、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、勝っている時代には入試試験の結果も、

これが弱くなりだすとよい選手が集まらない。選手が集まらないから勝てない。と、どんどん悪い方に転がることになりますね。

伝統的に明治の稽古はきびしいのですが、人數が少なくなると格闘技というのは競争心がなくなり、練習が单调になって来るんですね。又柔道界全般にいえることですが、最近は個性のある選手が少なくなつて来た様に思います。これは明治もあてはまります。

編集部 姿先生いかがですか。

姿確かに最近は選手がいるというか、確実にとのう選手がいるない。明治もこうゆうのがいた時代は実際に勝っている。このごろ又世間もそれをやり言葉でいえば、クールな考え方として歓迎するんですね。もちろん長い人生を考えれば、それなりの意義はあると思いますが、このみじかい四年間は、いわば修業の時なのですから、エリート意識をもつて生活してもらいたいと思います。嘉納先生の柔道の理想もそこにあります。

姿昔だったら、一生懸命稽古して柔道を身につけ、専門家になるにしても会社に入るにしても中途半ばなどでは生きていけないぐらい、切実に柔道を考えていました。こうゆう意識は柔道をやっている者に限ったことではないが、最近は世の中も柔道になり、先輩に同じ感想です。もうついでいえば、今の学生の稽古時間は授業出席のため週休二日制なのです。だから稽古に出れない分を、午前中警視庁武道館にいくなり、短時間で出来る筋力トレーニングをするなりして補うべくいろいろ指導はして來たのですが、どうも人もより強くならないという欲がないのか、もう一つ積極的でないのですね。

編集部 若いものに欲がないというか野心がない、ということは最近一般の風潮のようですね。我々の頃は柔道しかない、柔道を一生懸命やって自分の限界に挑戦する、そうすれば何か自分の将来も開けていくんじゃないかな

たつても絶体に勝つといつ選手は出てこない。

これが最近優勝出来ない原因の一つだろ。

しかし今年の東京大会では準決勝で東海に三〇で負けたが、秋の全国大会では、一〇（準決勝）で応援敗了。これは東京大会での結果をふまえた練習だ。量と工夫の結果

メンバーでも死にもの犯いで猛練習にあたれば、来年あたりは優勝のチャンスはあるかも

しれん。選手自身にそういう気持をもたせて練習をやらせなければならん。これがこれから

の課題と思う。

編集部 入学難が部の弱体を招いたことはまぎれもない事実ですが、それをいつてばかりはいられないと思います。ここで、部員数

がもともと落ちこんだ時代に監督をされたいた前監督に、この部員不足の他に御苦労された話を一つ。

関 部員の数のことといえば、最近は漸くコンスタントに十名を越し、極端な部員不足を脱しました。部員獲得以外で気をつかったことといいますと、私が監督をついた時の合宿の問題でしょうか。そこで、目黒の他に澄水園、姿寮があり、それぞれにしつかりした監督者がおられたので、部員の生活管理

らの課題と思う。

編集部 入学難が部の弱体を招いたことはまぎれもない事実ですが、それをいつてばかりはいられないと思います。ここで、部員数がもともと落ちこんだ時代に監督をされたいた前監督に、この部員不足の他に御苦労された話を一つ。

関 部員の数のことといえば、最近は漸くコンスタントに十名を越し、極端な部員不足を脱しました。部員獲得以外で気をつかったことといいますと、私が監督をついた時の合宿の問題でしょうか。そこで、目黒の他に澄水園、姿寮があり、それぞれにしつかりした監督者がおられたので、部員の生活管理

重ねて稽古あるのみ

編集部 今年は準決勝で優勝チームに一〇〇と惜敗し、スポーツ紙に、名門復活か、など書かれたのですが、我々がシビアに見えてどうしようか。粒じや決して劣ってはないのだが、東海とくらべて、勝負に対する執念というか、気力の点で一步遅れをとっている。これはやはり練習量の差だと思う。いろいろいっても結局自信というものは練習によってつけるしかないんじゃないかな。決勝に出た東海、天理ともう少し演技を見るに、まだまあ明治は先生が足りないという気持として先ず稽古量をふやす事、これはただ時間が長ければいいということではない。とくに演技の練習をきびしくすることだらう。東京入云では三本手でも演技で東海にやられている。

編集部 監督としてはどうですか。

篠巻 うちの学生を他と比べて、それぞれの力は特に優れているとはいえませんが、又極端に劣っていないと思います。それそれで、これが足りないというのです。その長所をばこれも部員の自覚の問題ですが、何といつても部を引っぱっていくのは上級生ですので、四年生の指導を重点的に行っていくつもりです。例えば、大会が終ったら四年生は御用洛みといったこれまでの例などは改めていくつもりです。四年生は最後まで四年生なのですから。

篠巻 自覺とか意欲は必ずしも道場だけで得られるものではありませんので、合宿所での日常生活にもこままで以上に気をくばって運んでやきたいと思っています。

編集部 それは大事なことです。キャプテンは道場で全部員の先頭に立ち、道場をはなされた部員の生活はマネージャーがチェックし

究題としております。又先ほどから話している様に、長いこと優勝からはなれているいわば負け駆除している学生の意識の改革に極力努めておりますが、仲々難題です。我々は道場に来るのはいつも自分なりの目標もつて来ました。例えは「あの先輩にはいつも同じ崩しで投げられるが、今日は防いでやろう」とか今日は少なくとも膝はつかせてやるぞ」とか、小さいながら何か目標を持って稽古にのぞんであります。そして終って反省し、又明日の目標を課す。このくらい考えでした。近ごろの学生の練習態度にはそれがうかがえました。この辺の意識改革がすべての基礎になるものだと思います。明治は監督、監督や師範的にわれたからやるのではなく、自分からやるということにつきると思う。

関 同感です。さらにつけ加えさせて頂きますと、極くあたりまえの事ですが、先ず自分の形をつくる。個性ある得意技を早く身につけることに努めることですね。これも毎日の反復練習が切っ掛けとなるのです。

篠巻 関君がいったように得意技を身につけるといつも、人の技のマネであつてはいけない、又それでは本当の技にはならない。

俺達の指導したことに自分の特徴をプラスしてこそ、本当の自分の技になる。例えば上村君から大内刈を習つても、足さばきぐらはまねている様だが、腰のつかい方特に手首のつかい方なんかは全くおぼえられないんだね。得意技というやつは、この技を自分のものにするぞという執念がなければ身につくものではない。だからこれがなければ、いくらいい技を教わってもマネの域を出ないんだな。

編集部 結局のところ、すべてが部員各々の意識のあり方ということに帰結する訳ですね。神永 意識の改革をするなら自覚が、稽古の内容や態度を変えるのです。これが毎日の練習からいっている様に、それ以外の稽古がないんですね。時間によってはまだ警視庁でも出来るし、又時には日本一の東海大へ向かって、いいよのどんんどん吸收到く見ただけでは一〇〇と接戦ではあったが、姿見感じだけではなかった様に選手一人一人の動きには練習量の差がはっきり出ていたと思います。道場での稽古だけからいえば相当やっているという感じをもっているかもしないがさき程からいっている様に、それ以外の稽古がないんですね。時間によってはまだ警視庁でも出来るし、又時には日本一の東海大へ向かって、いいよのどんんどん吸收到く見ただけではなかった様に選手一人一人の動きだけの練習をやっている限り、今のカラを破れないと思うのですが。

篠巻 たしかに出来稽古は必要だと思います。練習のため午後の練習に出れないものは、空いてる間に警視庁へいく様に指導しているのですが、一部の者しかやっていない様です。これも部員の自覚の問題ですが、何といつても部を引っぱっていくのは上級生ですので、四年生の指導を重点的に行っていくつもりです。例えは、大会が終ったら四年生は御用洛みといったこれまでの例などは改めていくつもりです。四年生は最後まで四年生なのですから。

篠巻 何回も言つようだが、監督からいわれてやるといううんじゃなく、自分からどんどんやつしていくという意欲だね。

篠巻 自覺とか意欲は必ずしも道場だけで得られるものではありませんので、合宿所での日常生活にもこままで以上に気をくばって運んでやきたいと思っています。

編集部 それは大事なことです。キャプテンは道場で全部員の先頭に立ち、道場をはなされた部員の生活はマネージャーがチェックし

て指導するという具合に、別に分業するわけではありませんが、主将や主務の性格がそのまま部の性格として現われるぐらい、真剣なリーダーシップを發揮してもらいたいものであります。それだけにキャラテン、マネージャーになる者の能力と人柄が問われるわけですが。どうですか、来年の朝飛、藤井のコンビは。

篠巻 必らず期待に応えてくれるものと信じております。又私も出来る限り足繁く合宿所を回るつもりであります。八幡山も目黒もせまくゴチャゴチャしてはいますが、最近は掃除も行き届いて規則正しくやっておりまます。又合宿所の運営については、経済的な面でもその他の面でもOB会の援助を頼んでおりまして、OB会の援助を頼んでいふる訳で、この誌面を借りて全国のOBの皆様にお礼を申し上げます。

神永 明柔会というOBのパワーは大変なものだと思いますね。八幡山の合宿所も正にOBの力を結集して、出でることから解決していくのが何よりも大切です。学生は、この合宿所はそのため、どういふ経緯で建られたのかをもう一度噛みしめてみる必要があります。そして物心両面に亘るOB会の支援に応えなければいけません。その最善の道は勝つことだということを肝に銘じることです。そして四年間の柔道部生活で何かをつ

かんで社会に出て、今度は後輩のために出来ることをやつてやる。それが明治の柔道部の伝統でもあるわけです。主な他の大学の柔道部はたいてい全員が諸でコチ・陣も一緒に生活しているようですが、明治もいづれはそういう方向にもつていただきたいですね。関合宿所のことですが、主な他の大学の柔道部はたいてい全員が諸でコチ・陣も一緒に生活しているようですが、明治もいづれはそういう方向にもつていただきたいですね。神永 OB会としてしなければならないことはまだあるわけですが、一つ一つの問題は前向きに検討して、出来ることから解決していくにあればなりません。最近非常に多くのことを明柔会費の集りも年々増えてきていましたが、奨学金制度も軌道に乗つてきました。漸く小規模ながら安定した形で部の応援ができるようになってきたことを、全国のOBの皆さんにご報告しております。しかし柔道部があつてのOB会なんですから、学生諸君にここで奮起して欲しいですね。

関地 方のOBの方々に一つお願ひがあるのですが、私の監督経験からいいますのが、発掘にはどうしても地元のOBの力が必要なだけですね。最近は支部の活動も活発になつてゐるよなので、各支部を拠点にして優秀新人发掘網を確立できれば、と考えていますので、ご協力ををお願いいたしました。

神永　今新人スカウトの話が出来ましたが、入学者難というネットがどうしてもついて回る訳です。それで、附属高校の話を聞いて皆で考へて、それがなければなりませんね。明大・中野高校は、今工藤先生が中心になつてよく見えてもらつて、合計十一年間の一貫した指導ができる訳ですかね。でも、附属高校の強化は大学柔道部としても、JOC会としても真剣に考えていかなければならぬと思います。例えは、学生の中から高校生を銀メダルのコーチに出すとかして、そのまま大学に送りこむ。これは非常にいい強化策だと思いますね。

大会結果

中村正浩

は他校に絶対負けなかつた」という黄金時代に活躍した先輩達の言葉を胸に刻み精進して下さい。本年度の主将として自戒もこめて、お願ひします。そして来年、会報のこの欄で優勝の喜びを語って下さい。



東京学生優勝大会 58・7・2

料亭
メンバーズながい

永井佑治(昭和三年度)

中 熊 木 古 藤 朝
村 谷 村 賀 鷹 飛
關 上 四 方 ○ ○
節 方 ○ ○
斎 吉 横 田 滝 須
藤 川 川 代 吉 貝



古賀一三栖(京産大) (選手権大会)



朝飛一滝吉(東海大)

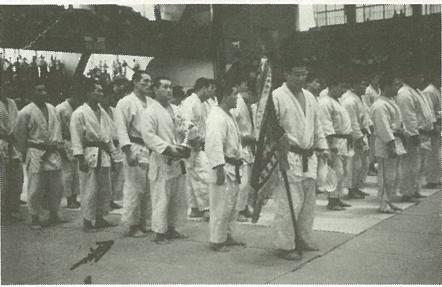
明治大学 5 全日本学生優勝大会 58
○ 古賀 ○ 横四 0 京都学園大学 9
斎藤田中引背方 3 大魚木園田授住

マネージャー奮戦記

—学生選手権大会の思い出—

第七回大会

小川登志雄



優勝旗を持つ神永主将 (33年)



私が明大柔道部のマネージャーを務めたのは、昭和三十三年、葉山監督・神永主将の時でした。今、往時をふりかえりますと、柔道部員として、最も大きな目標である。全国大会優勝を目指して、同輩諸氏と共に、若い血潮をたきさせていたことが、鮮明に覚えられます。いろいろと想い出します。中で、その年の全国大会の決勝戦で、今だに語り伝えられている神永主将と天理大学の古賀主将との、死闘とも言える勝負の場面は、二十余年たつ今でも、おもい出す

と手に汗がにじみます。中で、その年の柔道部活動を始め、圧倒的な強さを誇る明治大学の牙城に、ようやく周囲の大学が、じりじりと

も引分け。三将は甲斐に対する、これも天理形の中で、二回戦の井上。極端な左の変形構成による。怪力の甲斐が力任せに引きつけ攻めくるが、これも引分け。

中堅は、背負投げの徳山対松本成四郎・松本四対一で破った。そこそこまでは順調に勝ち進んで来ました。決勝戦は関西の雄、天理大学との対戦となりました。

天理大学柔道部は指導陣を旧武尊の出身者（吉松、松本、橋元氏寺）で固め、武事復活の夢を天理柔道部に託し、四年計画で強力なチーム作りを試みていたことで、丁度この時のそれが四年目にあたり、優勝を狙う意気込みには、ひとときわざと味は、こちらがわにも、ひしひしと迫るものがありました。

八千を越す観衆も、固唾をのんで両校の対決を見守っていました。

先鋒は重松対米田。米田は天理でも屈指の選手で、まず先取点をとり試合の流れを有利に導くとの策を出した。二年生の重松、少しも嘘うことなく、先手先手と攻め、米田につける隙を与えず引分けとした。次いで富貴見対東元。富貴見は上背がないが強靭な粘り腰と独特的の大外刈り得意を出し、それをさかんに攻めるが、東元よく耐えて、これ

の辺りで篠原の華麗な技の冴えが見られるか、と胸原が送り足払ごとに、「瞬」杉尾のつばめ返し、篠原横捨で「有効」となった。篠原すぐさま反撃に転じ、釣り込腰でさかんに改めるが時間となる。

ここでそれまでの均衡が破れ天理大貴重な一点をあげる。いよいよ大将の対戦、明治は勝つても延長戦、引分けでは敗けの瀬戸ぎわに立たされた。場内は両校の応援で騒然となる。神永主将はこれまでの試合の間に痛めた膝が更に痛む状態だったが、チューブで固定して試合場に上った。対する古賀は、「天理に古賀あり」と云はれる闘将で、オーソドックスな内股・松腰・大外刈得意とする。

両者一礼して組み合つて、神永すぐさま左大外刈り、古賀外刈に「転」大きなポイントとなる。再度の大外刈りに古賀腰に腰を落すが、鋭い足払いと、それに続いてくり出しなやかな釣り込腰、背負投げでこれ

追って来る時代でした。

昭和二十七年の第一回大会以来、曾根先輩、末木先輩、山尾先輩と三代の主将が、破竹の勢で三連覇を成しとげました。昭和三十一年代に入ると、関東では日大・中大・早稲田、慶應、関西では天理大、関大、近大、同志社などが台頭し、優勝を目指して鎬をけずつて

いました。第四回大会は日大、第五回大会は天理大が優勝し、第六回大会で、徳永主将が再び優勝旗を明大のものとしました。

昭和三十三年、神永君が主将となり、この優勝旗を守ることになりました。当時、部員の数は八〇名を越え、選手の層もすいぶん厚く、選手のポジションを自指して熾烈な稽古が続きました。

その年の五月、曾根先輩が日本柔道選手権大会で優勝され、柔道日本になつたことであって、部の中は極めて活気に溌ちていました。

第七回全日本学生柔道優勝大会は七月六日千駄ヶ谷の都立体育館で開催されました。明大の陣谷は神永主将以下、徳山・甲斐・比嘉・小林(健)・富貴見・湯浅・三年生の篠原・二年生の重松です。多くの選手候補の中から選びぬかれたこの顔ぶれは、実にたのもしいか

の名の告げられるのを待つ。

私は役員席で腕をくみじつと戦況を見守って居られる葉山監督のもとへ指示をあおぎに行った。「と言、「神永君でしょ」明治は主場内アナウンスで、小細工ではない。

理大学古賀選手」と告げられる、観衆の中からひときわ大きななどめきが起った。代表戦になると、古賀は一気に勝負を決めようと、神水の右膝を膝車で執拗に攻めたててきた。足をひきするようにして苦痛に耐え神永に明大陣は総立ちになり「神永ガンバレ、神永ガンバッテクレ」と叫ぶ。試合時間が三十分たったとき、古賀猛烈と左太外刈りにきた。神永必死にこれをこらえる。軸足の全くきかなくなつた神永、腕の力だけで古賀をひきつけ、おおいかぶさるようにして大外刈りを返す。古賀スピードオをみるとようやく背中から脛に落ちた。「一本」明治、優勝……。場内は神水の超人的な闘魂をたたえ

る拍手と歓声が続いた。

明治の援席ではもう一つの騒ぎがあった。神永主将の弟で一年生の正夫が試合会場で「兄生き」と呼び、脇を叩いて応援するうち興奮のあまり呼吸困難となり救急車で病院に

はこび込まれた。大事にはならずあとで笑い話になったが、その時は少々あわてた。

優勝旗を閉み柔道部優勝の歌を昂然と歌つた。取るなら取つてみる優勝旗渡しやせぬ、神永もすぐにそれを託すだ。小細工ではない。

明治大学神永選手は天理大学古賀選手」と告げられる、観衆の中からひときわ大きななどめきが起つた。

代表戦になると、古賀は一気に勝負を決めようと、神水の右膝を膝車で執拗に攻めたて

てきた。足をひきするようにして苦痛に耐え神永に明大陣は総立ちになり「神永ガンバレ、神永ガンバッテクレ」と叫ぶ。試合時間

時間が三十分たったとき、古賀猛烈と左太外刈りにきた。神永必死にこれをこらえる。軸足の全くきかなくなつた神永、腕の力だけで古

賀をひきつけ、おおいかぶさるようにして大外刈りを返す。古賀スピードオをみるとようやく背中から脛に落ちた。「一本」明治、優

勝……。場内は神水の超人的な闘魂をたたえ

る拍手と歓声が続いた。

明治の援席ではもう一つの騒ぎがあった。神永主将の弟で一年生の正夫が試合会場で「兄生き」と呼び、脇を叩いて応援するうち興奮のあまり呼吸困難となり救急車で病院に

第十一回大会 松本順吉



明治大学柔道部を卒業して早や二十一年、最近ではスポーツと名のつくものはテニスかゴルフ位で体力の

おとろえをとみに感じており、力が漲ぎていた学生時代を懐かしんでいる今日この頃です。

さて、先日の明柔会の手紙により突然、昭

和三六年当時の明治大学柔道部マネージャー、松本順吉に逆なりさせられました。(マネージャー時代の思い出をかけといわれても急には

仲々思い出せないものです。しかし不思議なことに原稿綴り切り日が近づいて来ると、責任上何か書かなくてはという使命感から、断片的乍ら當時が思い出されてしまった。その思い出を書きこととします。

昭和三年、一年生、神永主将に小川マネージャー。三四四年、二年生、篠原主将に立花マネージャー。いずれもその後自分がマネージャーになるととも知らず、両先輩の名マネージャーぶりを見ておりました。そぞ二五年、

三年生、重松主将、榎本マネージャーのもとで副マネージャーになりましたが、當時姿寮

マネージャーになるとも知らず、両先輩のマネージャーぶりを身近に見て來たため、あまり抵抗感はありませんでした。この時代、榎本

先輩には、厳しく、時にはやさしく、色々とマネージャーのノウハウを教わりました。そ

して二六年、四年生、田中章雄主将と松本順吉マネージャーが誕生しました。長い機で短

かい学生生活でした。三六年四月より三七年三月までのマネージャーとして一年間が、

一番充実した毎日でした。先生方、先輩方、そして同期生に教えられ又助けられて、どう

にかマネージャーの大役を務めることが出来

たおし優勝した時のことです。三三年の神永先輩達が、全日本学生、東京学生を制して以

て、明大は三四四年、三五年と優勝に見はなされていました。そこで二六年、田中主将のも

と何としても優勝を奪還するのだの意気にも

と四年生部員はたゞ集合して意志を統一

え、四年生部員はたゞ集合して意志を統一

させ結束を固めました。何回もミーティング

を持ち、負けた原因は何か、勝つ為の練習方法

はこれでよいのか準備体操や強化トレーニン

グにも工夫が必要ではないか、栄養面は、氣

力、チームワークはどうか等々、しつこいくらい話し合いました。そして、オランダのヘ

ーシング選手がレスリングのオリンピック選

手でもあった事を知り道場へ招いて体力強

化体操を習い、即使用にうつしたり、体力量

り体操をして、栄養のバランスを考えた食

事づくりに神経をつかつたものでした。特に

ビタミンには注意をしたとえば夏ミカ

ムや安いソーセージでいいのです)夜は野菜

やトウモロコシ類といつた具合に、チヨット

した配慮で可能なことです。きびしい稽古、それを支える栄養の補給と休息は、成果を上げる三つの基本です。(マネージャー諸君はこの三つのバランスをよしと考えて下さい。

話が少しそれましたので、もとに戻します。

そして、それやこれや、マネージャーはな

い智恵をしぼり、部員はよくそれに応えて練習にはげみチーム一丸となって大会シーズンに入りました。結果をいいますと東京大会で

は日大に若林を喫しましたが、全国大会では見事に雪辱を果し、三年ぶりに優勝の美酒を酌み交す事が出来ました。これは、曾根、神永先輩の指導のもと、四年生以下、部員が一丸となつてきびしい稽古に打ちかつて來た結果であります。

この全日本学生大会には小学生も出場しまし

その他の思い出としては、全日本大会等のビックな大会に出場する曾根先輩、神永先輩等の。当時はまだがマネージャーの役目でありました。ペリ世界大会代表決定戦で曾根先輩をやつておられます。年に一度のマネージャーですが、昨年は卒業二十年を記念して六年度組の大半が相棒に集合しました。又今年は御殿場に集合しました。来年は仙台に集まる予定になっております。北は仙台から南は九州まで全国から集まつては酒を酌み、飲めば時を経ずして学生時代に逆戻りです。当時はいつまでもマネージャーです。今後も仲間がいる限り、仲間がこうして集る限り私はいつまでもマネージャーです。今後も仲間の為良きマネージャーたらんと励むつもりで。

第十二回大会

大村勝利

明柔'83 L号に、
学生大会、主務の



ました。バリ世界大会代表決定戦で曾根先輩が勝たれた時、神永先輩が三十六年の全日本で優勝された時、試合場から下りてくる先輩にタオルを渡す、「一番最初に『おめでとうござります!』といった時の感激も又忘れ得ぬ」とあります。

思い出といった内容のものを寄稿され、私の様な人間が電話で頂いた方々に喜んで頂きましたので、多くの名マネージャーはござりますが、二十年前を振返る大変僭越ではございますが、振り返り乍ら、思い出を綴つてみたいと思います。

では、
私はいつまでもマネージャーです。今後も仲間の為良きマネージャーたらんと励むつもりで。

私達の学生時代は、第三期黃金時代といわれ、全日本学生優勝大会に四連覇を成し遂げています。又明治'83F号にもあります様に、三十八年度には、学生五名を含む十五名の選手が吉野山に在るゆかせでしてます。時に経過としまして、すっかり学年時代の気分となり、楽しい一夜が更けて来ます。（細川上田兩君、毎年の幹事御苦労様です）

卷之三

に勝ち、対明大戦に必勝を期して、満々たる

翌三十八年学生東京大会は、あらゆる関係者、マスコミ等も“明大圧倒的有利”と報じていましたし、選手達も自信満々でした。

選手力を十分発揮して、順位に勝てる。大将戦を引分ければ得失点差で明大の優勝が決まる所迄さしつけました。当時サブマネの私はこの事を大急ぎで、試合場際の県根監督へ「間違っていると思います」、「間違っています」と思ひます。私は駄目だ、色付く用意はよし!と、一歩前進させて後援団へ

私は前後を忘れ、無我夢中で試合場にかけられ、『片腕でも勝て!!』などと、豆茶苦茶なやりとりで迎えた大将戦で、主将の原岡君が肘節骨折というアクシデントに見舞われました。それもきりぎりのこと敗れ去ったのです。それもさすがに、選手道をひた走るだけでは済まなかった。選手道をひた走るだけでは済まなかった。選手道をひた走るだけでは済まなかった。

た。期待通り、きれいな仮腰で、本決めた田村先輩も立派でした。が、悠然とした態度で、誰に言うともなく「これが明治の柔道じや」とおっしゃって、豪快に笑った皆根横綱の姿も又、素晴らしく印象的でした。その後、私の方を見て、「ニコッ」とされた優しい笑顔を、道場での鬼の顔を払拭して、今でも胸の裏に鮮明に焼きついています。

この短い情景の中に、王者明大の誇と自信に満ちた、堂々とした姿と、選手を信頼して、振ぐ事のない、監督の温い心を、はっきりと見えたような気がしました。

今は亡き曾根先生の安らかな御冥福を、喪心よりお祈り申し上げます。

翌三十八年学生東京大会は、あらゆる関係者
が、全日本学生優勝大会に四連覇を成し遂げ
ています。又明柔'83号にもあります様に、楽しい
夜が更にかけて行きます。(細川上田君)毎年
十八年度には、学生五名を含む十五名の選
手(幹事御苦勞様です)。

特に印象深いものを持ちてきます。
三十七年学生大会の事でした。勝残った上位三校(明治、日大、中央)によて決勝り一ヶ戦が行われました。が明大は対中戦敗北で、その敗因を用ひた戦です。一方によく、

度同じ選手と対戦したとの強い要望もあり、メンバー編成もかなり苦労しましたが、作戦図に当り、殆どくるいなく東京大会を再現する事が出来ました。勿論五対一と軽く一蹴、この大会等々と優勝しました。

続く大阪で行われた学生選手権も、同期の石原君の優勝で幕を閉じましたが、いずれにしても東京大会での敗戦が、三冠（東京学生、全日本学生、学生選手権）達成を条件

に、沖縄遠征を約束されていた、曾根監督の信頼を絶ち、裏切る結果となり、後々までも恥辱でありませんでした。東京五輪を翌年に控え、空前の柔道ブームと共に、第三期黄金時代という、最高の舞台の裏で、名門明大柔道部の主務としての数々の貴重な経験は、私の人生に於て、最大の財産となっています。未熟な私が、大過なく主務の

田中先生が出来ましたのは、神田先生、（祐蔵先生）と諸先生、（祐蔵先生）と諸先生の親切な指導によつて、学生たる諸君の温いお心您的お陰であつたと、改めて御礼申し上げます。

村助監督といった強力な指導陣のもと、学生諸君の、より一層の奮勵努力によって、一日も早く、第四、第五の黄金時代を築かれた事を心から祈念しております。

最後に、地方に住んで、母校を訪れる機会の殆どない私にとって、会報「明柔」の復刊は、非常に喜ばしい限りであります。

「明柔」を手にした時、今を知り、往時が偲ばれ、明大柔道部員であった頃が懐かしく思い出されます。私の四年の時、学生がを中心となつて、現在のものとは全く比較にならない程稚拙なものでしたが、「明柔」を出した事があります。続けて欲しいと思つてしまつたが、その時限りであった様に記憶して居ります。

簡単なものでもそれなりに結構労苦した覚えがありますので、現在の「明柔」を編集なさる関係各位、多大な御努力と御苦労をなさつている事と存じます。

地方に居住する者にとって、この「明柔」は草木不長く、継続して下さる様、心よりお願い致しまして、とりとめのない拙い文を終らせて頂きます。



第二十四回大会 小野瀬雅幸

昭和50年年度第24回東京学生柔道優勝大会は、東京教育大学の優勝で終った。明治大学は準々決勝にて國立

郁夫(3年)、東北高校出身、177cm、120kg、インターハイ重量級準備優勝の実力を持ち、卒業後も東北代表として全日本選手権出場を果たす選手。特技投内股、支えり込み足。松岡孝利(3年)、丸谷と同じ大濠高校出身、179cmのだが、東教大、天理大と他校を一步ぬいて大変な不安を残すものであった。全日本で雪辱は、OBAは選手を励ました。翌日本で雪辱のOBAは選手を励ました。

結局明治は3位に終ったが、日大との二戦は実事上の決勝戦であつただけに今なお惜ましいものであった。しかし、敗れたとは言え東教大を下した選手とその裏で選手を支えた学生、そして最後まで応援してくださったOBや大学関係の人々に深く感謝しています。

最後は非現役の学生に希望したいことは、死語となりつつある文武両道を目指し、大志をかげあくなき闘志をもって困難に立ち向つてほしい。勝負への姿勢は君の人生に対する姿勢でもあるので、人生もこれまでさばきと思える。学生柔道界の古豪明治はこれまで多数の優秀な人材を社会に送り出しているのであり、諸君も是非それに統じてほしい。そして学生柔道の真體を世に示してほしいと強く希望します。

もとより
日本光学㈱

五〇年度



世界柔道で感じたこと

世界柔道選手権大会コート

上村 春樹

第13回世界柔道

選手権大会はソ連

モスクワ市レーニ

ン・スポーツ・パ

レスで、10月13日

(木)から10月16日

(日)まで41ヶ国20選手を集め8階級で競戦が

開催され、日本が4階級に、ソ連、東独がそ

れぞれ2階級に優勝した。

今回の大会で印象に残ったのは、世界の柔

道の勢力分野が変わつてきること、外人

選手のスタイルが変わつてきることで

ある。

最近の国際大会では、日本対ソ連、フラン

ス、それに、ソウル五輪を目指す進境著しい韓

国、大会は大韓航空機事件での不参加

が加わり激戦を繰り広げてきたが、今大

会では、常に日本の強敵となってきたソ連

量級の銅メダルもとれない不振、ヨーロッ

パチャンピオンのバリン無差別、メリロ(71

kg以下級)、レイ(65 kg以下級)の3人を揃え

前さばきの早いテンポ)が進んでおり、

5

食肉業界に奉仕する
中島グループ

中島興業株式会社

代表取締役 中島辰平

中島畜産食品株式会社

日本米穀株式会社

中島畜産市場仲買株式会社

弘友食品株式会社

総合本社 東京都新宿区太田一六八

東京03(55)四二九六六八

十二月十九日、渋谷の「翻」で行われる。

五八年度 納会

本年度の納会と、明柔会忘年会が合同で、

明人柔道部監督(旭化成本社)

27

ながら86kg以下級で銀メダルしかとれなかつたフランスの凋落これに変わり、金メダル2個、銀メダル2個をとった古豪東独の復活や、西独や東欧の選手が激しく鍋を削つて行くと思われる。

技術面では最近、盤量級選手でも7割強が奥様を持ち、直線的なパワーあふれる柔道を行なつてきただが、今は2~3割の選手が奥様を持つだけとなり、柔道のスタイルが変つてきてている。このような変り方をした理由のひとつとして、下から持つ柔道は基本(技、間合い)よくし等がしかりでなければもちろんパワーも必要だが、奥様を持ち直線的な動きしかないパワー柔道に比べ、攻めの巾も広く、ディフェンスも安定していることを痛感している。これは今大会で優勝した全ての選手が下からとて攻めるタイプであることからもわかる。

このように、世界の柔道が下を持ち正統派の柔道に移りゆく状況は歓迎することであるが、試合のやり方は畢竟悪い意味でのスピード化(持つたら相手の体勢など関係なく技をかけ、持たれたら無意味に切るといつ

ヤンスをつかむのは非常にむずかしくなつてきている。従つて國際大會等で勝敗するためには、自ら相手を追い込みチャンスを作る攻め方を習得することが必要であることを痛感した。ロス五輪までありますところ8ヶ月となつた今、ここで柔道の原点に立ち戻つて、外

国の柔道(試合方法審判等)を再認識のうえ選手強化対策を練り、懸命の努力をしていかなければならない。

株式会社 アイリス
代表取締役 佐々木充行 (42年度卒)

本社 〒779-38 徳島県美馬郡鷲町大字鷲町802番地
TEL (08835) 2-1134番(代)
大阪 〒541 大阪市東区安土町1丁目22-1
宮殿所 プライムビル3F-302 4F-402
TEL (06) 264-6285番(直通)(代)

● JASが認定する高品質。
●衛生検査100点、完璧な衛生管理体制。
●おいしさ便利さ、たちまち人気もの。

(旭化成グループ)
サンバーグ株式会社
本社 〒506-04 佐賀県唐津市唐津町大字西原田字海道1456-1
TEL 02808172531

ボタン・服飾附属
鈴木商事有限公司
鈴木 強 (46年度卒)
足利市八幡町82-12
電話(0284) 4616-4617

(株)大村肉店
大村 勝利 (38年度卒)
〒415 静岡県下田市2-4-24
TEL 05582-2-4705
5655

タオル製品製造販売
四国商事株式会社
〒881 佐野市中野町新井1115町12号
電話(088) 5664-7001番
○タオルギフト各種 ○オリジナル贈入タオル各種

ジャムの専門メーカー
JAS規格認定工場／輸出品製造認定工場
株式会社アドージャム
東京・大阪・札幌・仙台 工 松本
名古屋・福岡・松本 場 三木(兵庫県)
長野県松本市大字崔賀598番地 松本26-6811

26

OB便り

九州明柔会

松岡義隆

各OBは頃の練習？の成果を思う存分発揮せんと意気込みました。

道の乱取のようにはいかず、全員疲労困憊で18ホールを終了しました。

特にバーティーで、小さく打つ際には、突如物まねの「姿師範」が現われ「なあー！」に小さな

明柔会でした。
頑わくばオーオー明治の校歌を勝利の美酒
に酔い放歌高吟してみたいと思う昨日です。
最後に会員諸兄の御健勝をお祈り申し上げ
ます。

懐かしき二十四年後の集い

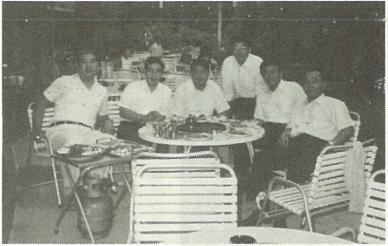
七月二三日、二四日、京洛の松崎会館に於いて三四年度卒の同期会が開かれました。この会は渡辺邦雄君、大橋彦彦君が計画し、現地の世話は三九年度の山本忠史君にお願いしました。当日お互いの顔を見るなり懐

うちに全コースを走破?したのです。暑さを吹飛ぶ、玄海灘を望みつゝ、生アサヒビールを飲みながら、爽快な道場で、稽古風呂と、第二道場(横山酒店)と同感触ありました。又母校柔道部も往年の名門復活を全員で語り合い、後輩学生に対する指導、支援的具体的な話まで出て、意義ある

さのあまり青春の血が沸立つ思がいたしました。しかしながら、お互いの頭髪は二四年の年月を如実に物語っていました。早速美しい庭園でバーべキューといううsettで乾杯して、時の過ぎゆるの忘れて語り合った。例のごとく、あの日、あの時の思い出の数々、姿先生をはじめ、すでに故人となってしまわれた葉山・鶴見・久米・八島・斎藤・曾根、と先生方の思い出を口まねまじりで語り合つ

九州勢は小生の同期、長田君、三十二年度

写真説明、左から谷藤義明、立花敏明、大橋武彦、渡辺邦雄、佐久間豪（旧姓、伊藤）。特別参加 39 年度山本忠史



に大事にしてやれ」と言つた彼の言葉は皆の心を打つたに違いありません。

そして夕方五時、次回の愛媛松山での再会をちらつて有意義だったこの会を散会しました。今、青年前をぶり返えて、青春時代のよき友情を育んでくれた母校明大柔道部はさながら感謝する次第です。それこそ現役の皆様の活躍を祈って同期会の報告といたしまます。

三四年度 櫻立花商店

三十七年度卒同期会

三十七年度卒同期会

小林芳昭

ましたが、これは一部の集いで、いわば火種でありました。この火種の中心である杉原君が、実現までに東奔西走し、西は福岡の栗原英道君を訪ねることを最終として、いよいよ全国に案内状を発送するに至った訳であります。ここで両君の情熱に深く頭を下げる思いを抱いたのは私一人ではなかったであろうと、口を付け加えておきたいと思います。

一口に卒業二十周年を迎えるまでの長い年月であり、卒業後人々に会える旧友に対し、かつての雄姿を思い出しながら、胸をはますませながら、会場に赴いたのであります。会場は新宿西口の豪華中国料理店、その名も「豪

華」で同日正午開会となりました。

早めに到着した者それぞれに語らい、総員三名はさすがに働き盛りの年代、その活気



明治大学柔道部 辛亥20周年記念 S58.4.28

O B
便り 海外の部

鳥海又五郎

中秋の候皆様に
おかげましては益々御健勝のことと
お慶び申し上げま

栗原君の方に会われた次第です。栗原君の司会によって進行され、まず不幸にして病魔にとりつかれ、若くして逝かれました。宮崎の川端君の冥福を祈つて黙とうを捧げました。そして後日靈前に本日のことを代表が報告するとの申し合せをしたのであります。杉原君が経報報告として挨拶の後、いよいよ乾杯のはこびとなり、先の名酒を古にころがし再会を祝し合いました。あらためて卒業以降のことなど、各人自己紹介をおこない講えりだして貰った同期会ならぬが、その光景がくりひびられはじめました。なかでも庄屋だったのは栗原君扮する姿先生が同期のメンバーに稽古をつけける風景を再現して見せたことであります。栗原君にこれほどのかくれた才能があることは、誰も気づかなかつたのでないでしょうか。稽古をつけられる方も誠に立派なもので、二十周年記念同期会の席が居るままちまちかって学年坐で通つたあの道場は見紛う雲霧に変つたのであります。模擬演技と云ふは自負の演技で、一司復もよじれんばかりなど、いずれも道場の畠に汗と涙の思い出の顔ぶればかりです。特に石本君においては同家伝来の幻の名酒「越の寒梅」二十二本を携えての出席だけに、一同の視線はもっぱらそちらの方に注がれていたのです。

りに笑いこころげ、思い出に酔つたひとときで
寝た。　　寝ただけわなとなったとき、「誰となく今後
の我らの同期会のあり方について発言され
、「毎年開催すべし」との意見が圧倒的で衆議一
決、来年も再会を誓うこととなりました。
キヤブテン朝日君が「我々同期会の発展を
望む」くだりにおいては、さすがにキヤブテン
の声がかかり、そして若き日明大柔道部で修
業した名譽と誇りを傷つけぬ様一人一人がか
みしめ、また今後の健闘を祈りつつ校歌なら
びに部歌を声高らかに齊唱したのであります。
　この日、出席者全員が記念写真におさまり、
また全員券に署名がなされ、二十周年
記念品としてそれぞれが長く保存することと
いたしました。学生時代と変わぬ空気で大
いに語り合を重ねる。本当に旧友相集うこと
の嬉しさは格別でした。時間が来て、なごり
を惜みつつ来年も全員が出席を約して万歳があ
りますよ」と喜んでいました。

共榮火災海上生命渡谷店

もの、自然の姿等々すべてが楽しく毎日が幸せを感じ感謝する気持で一ぱいでした。日本人はこの様な生活をよくあくまですることと受け止め、何の疑問も感激ももっていない様ですが、実際のところは、今の繁榮におばれ判断をあやめると、このあたりまえの生活があたりまえでなくなると思うのです。

よくいわれることがですが、柔道のような格闘技では、ハンガリーの精神が勝負に勝つ根本性を育てるといいます。小学生が明治中学生の

小生、日本を離れ
砂漠の国サウジアラビアに来てから五年と十
ヶ月たましまで、緑の沢山ある自由の国日本
にいたしまして、生れた幸せをつくづく感じた次第です。
東京での一ヶ月半がアッという間に過ぎて
しまい、また酒もなし、女もなし、喫茶店

映画館等の娯楽施設もなく、日中五〇度越す猛暑の国へ戻るのかと思うと、心をふるい起きないと出発する気持になれませんでし。た。(サウジに着きましたして、もう一度日本の生活について考えてみました。

大学にもまけない稽古にはげんで下さい。そうすれば優勝はおのずから我々のものです。

きびしい砂漠の気候にもわざかな変化があります。十一月から二月にかけては日中三〇度から三五度位で、日が沈むままで〇度近くになるというきびしい温度差ですが、一応夜になると、夜は毛布が必要になります。とはいってはよほ季節です。とはいってはよほ季節です。夜は毛布が必要になります。ストーブは、車は屋はクーラー、夜と早朝はヒーターというう訳で、これは一年を通してかわりません。

この季節になると週末はよく友人達とつれだつて化石の採集に出かけます。この化石は、目やサメの歯等が浮き出たもので、資料的にも、美しさの点ならぬなかなか面白いものであります。また夕方になるとカレーライスなど出かけたり、そして晩ご飯ながら太陽の沈むのを眺めます。砂漠の夜は空気が澄っていて満天の星は降る様です。広大なアラビアの大地に向かって宇宙を見上げていると、砂漠の砂ツブの様な自分の存在があらためて認識されてしまいます。この国も一月、三月にはわずかに雨が降ります。(年間七日間)。そして花が咲きます。又ベドウイン(遊牧の民)が砂を堀つてキノコを取つて来ます。これをス

ープに仕上げると素晴しく美味しく、パリの

では、お会いしてご挨拶申し上げねばならぬのを電話にて大変失礼いたしました。
▲サウジに鳥海君といった時から何かと御心配をかけていた事を、ジャパン石油開発の岩井先生から伺つており有難く思っております。

になり、有がたく思つております。
今、私が指導しておりますのは週六日で、
軍隊と警察を午前中見て、午後からはスポー
ツセンターで青年一般の部を見ております。

ミ等が目立ちだすのもこの季節です。

られて見た時、こちらのそれは古説とさえいえると思います。しかし砂漠に立ち壯麗な日出や日没の光景に接した時の雄大な感觸は、いわゆる文明国では絶対に味わえぬものであります。機会がありましたら是非おかけ下さい。

の健闘をお祈りして終りいたします。

SAUDI JAPAN JOINT COMMITTEE
E.P.O BOX 4095 RIYADH, SAUDIA-

RABIA

永吉勝憲

拝啓 秋涼の候お変りなく御活躍の事とお慶び申し上げます。シリアルへの出発に際しまし

卷之三

もつており、それだけで皆熱心で根性もあり

本日はこれまでの失礼のお詫びと近況報告までにて失礼いたします。これからは折ある

毎はお手紙（幸合）を差し上りますので、
しく御指導の程をお願いいたします。それ
は御活躍をお祈りして。

は徹底路を越えて
神永昭夫先輩 シリア ダマスカスにて
三九年度 永吉勝憲

AMBASSADE. DU JAPON NO15 AV-
E AL-JALA'A DAMASCUS LA RE-
GION VILLE DE

RIA)

フランスで思うこと

賀見先輩が、すでに七一八年間に亘つて指導に従事されているときいて手紙を出しましたが、すべて御返事を頂きました。御承印の譲り

に、レバノンは現在もなお戦火におおわれており、先輩も苦労されている様ですが、元気



果しなく広がる砂漠、アラビアのラクダは「ひとつぶラクダ」 気温8月下旬で約40℃

日本は今中秋の候、冷気が深まる季節かと思ひます。先生、先輩又部員の皆様におかれましてはいかがお過しですか。私はなれないで國外で戦苦騒ぎしながらもガゼンひとつひきずり気になつておられました。がんばりがんばります。

柔道の指導について申しますと、弱弱の私が人に教える事自体恥かしい限りであります。しかし、ともかく派遣していただいた以上精一ぱい頑張って任務をはたすつもりです。今私は道場で練習生数名と寝起きをともにし、朝のトレーニングが午後夜の稽古と言葉の通じないぶんを練習でカバーするべく精を出しています。といいますのは月末にパリで全仏ジ

ユニア大会が開かれますが、この大会におかげで当道場からも二名（九五キロ級と六〇キロ級）の選手が地区予選を勝ち出場がきまつてゐるからです。地区予選を勝ちたための夏はバカラ賞を返上して猛練習をしました。彼等も今年の明治の様に是非上位にくい込んでもらいたいのです。

フランス語勉強について申しますと、これは柔道指導のためにも、私が将来目標としている仕事のために必要不可欠なことですので、近くの小学校の先生について週五日のレッスンに励んでおります。全員のゼロからの出発ですので、当然のことながら最初はまったく授業になりませんでした。他の男がまるで赤坊の様で我ながら情なくなりました。今になって学生時代の不勉強を悔んでおります。

さて、フランスにまいりましてアッという間に半年が過ぎました。ここで外国生活七ヶ月目にに入った最近の心境を述べさせていただきます。言葉の障害が大勢のフランスとの接触を防げているということもあります。が、妙なことにフランスへ来てこの国のことよりも、住んでいる時にはまったく考えもつかない日本人とは、日本の国とは、といつ

たことがなく、社会とか国とかについて考えることは心なきません。日本は民主主義の経験が浅いだけでなく、ヨーロッパの国々と遙かに民族興奮の歴史的経験が少ないだけです。フランスの経済は以然として停滞しており、国民生活は大変な様ですが、この国の人々は自國の文化と伝統に強いプライドと自信を持っています。日本は本来、このヨーロッパの大国民党に負けない高い精神の文化を持つています。ぬるま湯につかっている日本人は、モノやカネが人生の万能でないことに早く気づき、自國の文化に自信を持ち、愛国心を養い、そして視野は広く世界の中の日本であることを強く認識しなければならないと思います。自分の国の文化や伝統を放棄して少しばかり金もうけをしたからといって、そんな根なし草は周囲の状況変化によってすぐにけてしまします。人は金持ても軽薄で信義を失けるものとは本当のつき合いはしません。国と国との関係も同じことではないでしょうか。

大ぞう偉らうな熱をふいてしまいました。私もいつこの間までは自分の事しか考えたことが意識の中にクローズアップされてきたことがあります。今まで空気か霧の様に感じていた国とか社会とかいたものが、丁度客席の正面にすわって舞台を見上げる様に見えてくる、といふ言い方で解って頂けるでしょうか。そしてお kB せせながら祖国日本の素晴しさと精神文化の高さに気がつき、日本人であることには誇りをもち、胸を張ってこのフランスの田舎町で生活しているという話です。先進国といわれるEU諸国は停滞して久しく、一般国民の生活は實に素朴なものでした。くらべて日本はわずか百年たらずの間に、しかも負けを負けるという経験をしながら、今日歐米をしのぐ経済大国といわれる様になりました。その要因はいろいろ指摘されますが、その大きなものの一つにこれを挙げた日本人の国民性がいわれております。勤勉さ、強い精神力、ねばり強さ、慎み深さ等々、たしかにヨーロッパ人とくらべていちいちうなずける点であります。この日本の成長経済でも日本からの輸入品に対する税制引上問題がまだすぶつています。

しかし派生する問題は別にして、短い期間に先進国の経済に追いつき追いこした日本人

たことなく、社会とか国とかについて考えたこともありませんでした。この六ヶ月の外國生活を少し大人をしていました様です。というよりこれまでにも不勉強で自覚に欠けていた、ということでしょう。

よく欧米に出た日本人は、極端にバタバタとなるか、或いは国粹主義的思考に傾くとかいわれます。とすれば私は多分後者の方でしょ。しかし、せまい意味でいわれる、いわゆる國粹主義者におちいることなく、皆様に身につけて帰りたい

ヨーロッパの地にてお祈りいたします。

フランス、タンブルにて 吉田尚生
(本年四月卒)
CENTRE SPORTIF de LOISIRS, et
D'ARTS MARTIAUX Lembrun 47110
LE TEMPLE / LOT FRANCE

さて、このたび会報「明柔」編集部の要請をうけて、思いつくままフランス滞在六ヶ月の感想をかきました。柄にもない事をだらだら書いてしまったがどうかお笑い下さい。

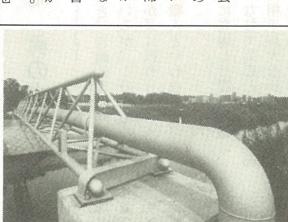
南フランスの田園地

京葉瓦斯株式会社 菊池仁

豊かな生みと住むよい環境づくりにご奉仕して55年。京葉ガスは、工場とお客様を直結する日本のパイプに培われた「信頼」を大切に今日もまた豊かな技術と豊富な経験で、より多くのお客様により多くの都市ガスをお届けします。

都市ガス。

豊かな生みと住むよい環境づくりにご奉仕して55年。京葉ガスは、工場とお客様を直結する日本のパイプに培われた「信頼」を大切に今日もまた豊かな技術と豊富な経験で、より多くのお客様により多くの都市ガスをお届けします。



確かな信頼のパイプ

都市ガス。

豊かな生みと住むよい環境づくりにご奉仕して55年。京葉ガスは、工場とお客様を直結する日本のパイプに培われた「信頼」を大切に今日もまた豊かな技術と豊富な経験で、より多くのお客様により多くの都市ガスをお届けします。

京葉瓦斯株式会社

菊池 仁

〒272-20047 東松山市下川辺 8-8 TEL 049472-251121

明大の技
(3)

岩崎
勇の内股

自分の右腰に固定された型にする。そして俊敏な体のひらきと腰のひねりでとばす。この型は引手を袖口近くをにぎった時の極くオーネードックスなスタイルであるが、彼の



明大附属中野高校柔道部を指導している工藤欣一(二九年年度)は、技の指導説明にあたって、その技を得意とした往年の明大のスター達をモチーフとし登場させる。須崎山周司(三四年度)負投でアルベルト・ヒルマン(三四年度)を破る。須崎山周司(三四年度)大外刈ならば村井正芳(三九年度)四年度、大外刈ならば村井正芳(三九年度)の引きつけであり、重松義成(四七年度)の如きも、りといっく異合である。

一氣流抜群の彼の勉強会では、数々のOBがその得意技や様々なエビソードとともに紹介される。それぞれが日本本級の技であり高校生のレベルでは何うか?といひ向きもあるが、彼は高校生といえども明大道場で学ぶものには明治の技を教えなければならないと情熱をかたむけている。

そこでこの工藤教室、内股の部に一番多く登場するの岩崎謙二(二九年度)がある。明大の岩崎謙二(二九年度)は、この岩崎の他、曾根康治(二七年年度)、石橋義次郎(三〇年年度)、徳永三幸(一九年年度)、富田弘美(四〇年年度)、安斎泰人(四三年年度)等が上げられる。

編集部の調べによると、岩崎は現役時代の五六試合で六〇勝っているが、このうちの五五六勝が内股による一本か又は技有りということである。彼が内股の職人といわれる所以である。

木三の「ハーブと和食」や「アロマ」、美術館など、岩崎は逆に相手が大きからうが小さからうが、業師であるうが自護体であるうが、ひたすら内股でとる、という対照的な業師で

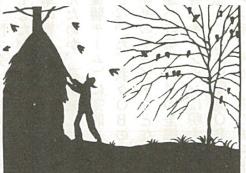
非ひの引き手のニツを学生は伝授してもらひたいものだ。尚坡は当時、学連のマネージャ

四段

の内股を代表する名手には、この岩崎の他、曾根康治(二七年度)、石橋毅次郎(三〇年度)、徳永三幸(二九年度)、富田弘美(四〇年度)、安斎泰人(四三年度)、等が上げられる。

明高柔道部之明大柔道部

隨筆



(原稿到着順)

当時明大柔道部助監督の久米勝先生が明高柔道部の師範に就任してくださり、毎週道場にてお見えになつて稽古をしてくださいました。お見えの明高柔道部に対する熱心なるご指導にはたゞただ頭の下る思いでいっぱいです。また公私にわたりて献身的にお世話してくださいました。久米先生は、私をはじめ柔道部員から父親のように慕われまた尊敬されていました。残念ながら久米先生は他界されてしまいましたが、久米先生がまだ存命だった頃は明高柔道部はまだ強い柔道部であるだらうし、明大柔道部は選手を送り出しているだらうと思うと残念でなりません。また故八島先生、葉山先生、小田先生も時々明高の道場へ

にお越しくだされ、ご指導をいただいたことが思い出しないとして残っています。先生方のお見えに親切に又きびしご指導いただきました。よく浅井先輩の同期生の方や、徳永先輩の方々にはたいへんお世話をなりました。誌上をお借りいたしまして当時のお札を申し上げます。

この様な明大柔道部の親身のご指導を受けた我々は、創部一年にして東京都優勝大会に第二位となり、関東大会の出場権を得ました。関東大会では長谷川博之君の率いる浦和高校に勝ちましたが、次の試合関東の雄であった慶應高校に慄然ながら惜敗ししまいました。慶應高校の同期生には新井康之君、石井暢吾君がいて明高卒業後一緒に明大柔道部に入部してともに汗と涙を流し、また四年生の優勝の時などともにうまい酒を飲みました。そしていまでも時々会っては明高、明大時代の話に花を咲かせています。

にお越しくだされ、ご指導をいただきたいことが思い出して残っています。先生方のお見えにならない時も、大学の柔道部員の方々が親切にあきびきで指導いただきまことに浅野先輩の同期生の方や、徳永先輩の同期生の方々にはたいへんお世話をなりました。誌上をお借りいたしまして当時のお礼を申し上げます。

37

ての大会に優勝、かがやかしい戦果を収めました。そして全国大会、下馬評では明高柔道部優勝……でしたが、大分県まで30時間座つたままの汽車の旅にさすがの剛健さで、とにかくれたためか、高田義之助君のいた久留米商業（優勝チーム）に完敗、ベスト8に残ったのみとなつた。我々OBの中では田中

章雄君が36年度のキャプテンとなり、明大柔道部初の四連覇の第4回目の全国優勝に輝いた。東京出身のキャプテンは明大柔道部では彼一人だと思つ。明らかに明高OBの明大柔道部キャプテンは彼一人で、その後神永監督のもと永久助監督をした。田中君の後には大村勝利、鳥海又五郎、中野一郎、中元義行、中島平人君達が入部した。

光陰矢のごとく、振り返ってみますと明高柔道部も創部以来30年の歳月が過ぎ去るうとしています。そしてこの間我々が数々の成果を上げることができましたことは、付属高校として大学柔道部の傘の下で技術両面に亘るご指導を受けることができた賜物、ただただ感謝する次第です。また久米先生が一生懸命稽古をつけてくださったお陰です。そして創部30周年を迎えるにあたり、お世話になった先生や先輩諸兄へのお禮と、明高柔道部の再

章雄君が36年度のキャプテンとなり、明大柔道部初の四連覇の第4回目の全国優勝に輝いた。東京出身のキャプテンは明大柔道部では彼一人だと思つ。明らかに明高OBの明大柔道部キャプテンは彼一人で、その後神永監督のもと永久助監督をした。田中君の後には大村勝利、鳥海又五郎、中野一郎、中元義行、中島平人君達が入部した。

光陰矢のごとく、振り返ってみますと明高柔道部も創部以来30年の歳月が過ぎ去るうとしています。そしてこの間我々が数々の成果を上げることができましたことは、付属高校として大学柔道部の傘の下で技術両面に亘るご指導を受けることができた賜物、ただただ感謝する次第です。また久米先生が一生懸命稽古をつけてくださったお陰です。そして創部30周年を迎えるにあたり、お世話になった先生や先輩諸兄へのお禮と、明高柔道部の再

最後になりましたが、現在の明治高校柔道部はいかにも弱すぎます。この30周年を一つのけいきとしても少し強い柔道部、マネージャーでもよいから明高柔道部員が明大柔道部に一人でも、一人でも入部するよう、我々OBが援助協力していかないと考えています。ぜひ明大柔道部のご協力ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

(三三年度)旭ゼールディング候役員
(明高柔道部OB会会長)

思 い 出

中 島 順 人

部員としての私は、一年三年四年頃は全く自立しない存在でした。が、四年生の夏、あまりの暑さに暑氣をはらしてから道場に向うつゝで横山第二道場にちよちよたがつたのですが、もうすぐ前号に登場したK君と同じバーチであります。三時間後、稽古をおえた監督になりました。

O.B.の来る筈のない(事前の調査で)

下四、五人のO.B.が、店に入つてまいりました。神永監督「オ、中島早いな、中島とっさに、ハイ、先に来て、用意をしておりました……」監督「ああそうか、それは御苦労さん、だけど中島、君は今日道場に来ていなかつたな、アハ……まあいい、一緒にやろう」

中島「……」
二ある日練習の後、同期生と感じられたマジシャンを雀荘「西東」で競かわしていました。O.B.の来る筈のない(事前の調査で)

この店にとつぜん朝田、村井、篠巻の先輩達のみならず神永先生まで入つて来ました。

「まずい」と思った瞬間カーッと頭に血がのぼり、さすがの私もどうしてよいかわからなくなつてしまい、只々顔を伏せてしまいました。村井先輩「よし、ヒラント君、リラックスしていいよ、中島!」朝田先輩「ハイちゃん、調子はどうだい」中島「……」神永先生「ゆつくりやついてけ、負けるなよ中島」中島「……」翌日の稽古がどんなであつたか御想像下さい。

三これは私の博報堂時代のことですが、これも又或る夏の暑い日、講道館の稽古の後に小林敏先輩、後輩の加茂君と私がある有名ホテルのビルファ前で同時にギネスダーツの副賞がつづつといふものであります。(もちろん不成功の時は有料になります)三人はいテストの様なもので、世界十二カ国とのビル二本(ピンの大きさは様々)を五十分以内にやつつけられタダで同時にギネスダーツの副賞がつづつといふものであります。(もちろん不成功の時は有料になります)三人はい

三人分三十六本の各国のビルをのせたワゴンがかなりデラックスなオードブルとともに運ばれてきました。「カナダがつまむ」「いや

チエコの方が!」「フランスはだいぶおちる」等々いろいろながら二十本を空にした時は、まだ十五分しかたっていないませんでした。カラカラにしての挑戦ですからここまでは当然であります。とにかくこの時点では、樂勝確実のムードであります。「少し味わつて呑もうじゃないですか」「オードブルをのこしらやもつたないぞ」等と余裕のあることをいついていたもののつかの間、九日本緑色のビル(上海製)をのんだあたりから

真夏の稽古で三キロくらい水分を出しのどを運ばれてきました。「カナダがつまむ」「いや一号」ということでした。副賞の送り状にサイ

ンをし、ウェイトレスのおどろきといさかねで、四十人近くの客が、店に入つてまいりました。神永監督「オ、中島早いな、中島とっさに、ハイ、先に来て、用意をしておりました……」監督「ああそうか、それは御苦労さん、だけど中島、君は今日道場に来ていなかつたな、アハ……まあいい、一緒にやろう」

中島「……」
二ある日練習の後、同期生と感じられたマジシャンを雀荘「西東」で競かわしていました。O.B.の来る筈のない(事前の調査で)

であります。終つてからわかつたのですがそれまでこのコンテストに挑戦した個人、グループはことごとく失敗しており我々が成功

一號」ということでした。副賞の送り状にサイ

ンをし、ウェイトレスのおどろきといさかねで、四十人近くの客が、店に入つてまいりました。神永監督「オ、中島早いな、中島とっさに、ハイ、先に来て、用意をしておりました……」監督「ああそうか、それは御苦労さん、だけど中島、君は今日道場に来ていなかつたな、アハ……まあいい、一緒にやろう」

残念ながら柔道の力のことをいっているのでなく、酒、マージャン、パーティの司会……

といつたいわゆる三枚目分割での評価であります。卒業して10年、トレーラードマークの若シラガにもツヤが増してまいりました。年月もだいぶ経過したといつてこそ、当時のハジ

の思い出を二、三書かせてもらうことにします。

最後になりましたが、現在の明治高校柔道部はいかにも弱すぎます。この30周年を一つ

のけいきとしても少し強い柔道部、マネージャーでもよいから明高柔道部員が明大柔道部に一人でも、一人でも入部するよう、我々OBが援助協力をいたさ

せひ明大柔道部のご協力ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

さて現在私は明大柔道部のスピリットと青春の思い出を糧に、都内で食肉関係の事業にとり組んでおります。墨田区におますので、近くにお出かけの際はお立ち寄り下さい。それでは会員皆様の御健勝をお祈りいたします。

四四年度

中島グループ中島興業㈱

厄年雜感(近況報告にかえて)

植 草 勝(旧姓植田)

まだ若い、まだ若いと思っていたら、いつの間にかもう四歳、聞くいくところの厄年である。去年の大晦日、人並みに家族揃って年越しそばを食べていると、女房曰く「お父さんは来年は本厄だからどこかへ厄除けに行つたほうがいいんじゃない」六歳も年下のくせにおばあちゃん子だったせいかなことはよく知っているし割合だわる方なのだ。

しかし、「言われてみれば体型は崩れてくれるし、動軽い、息切れを自覚することも多い。そ

れに、公私の、私のも結構多いとされば厄年もあながちばかりはできない。案外科的根拠があるのかとも思いたくなる。

「じやあ年明早々に行つてみるか」という

ことになった。それでどこへ行つたらよろしいかとあれこれ考えてみたが、成田山新勝寺はいつでも行けるし、ご利益があるってしかねた感がないでもなかったが、とにかくねんねの財布をはたいて大魔摩をもらった。わざわざめれば何となくホツとした気分になるから不思議だ。もっとも、お参りしただけで全てOKというものではないし、やはりこれを機会に健康管理などによく注意を払えというのが本来の教えなのだと殊勝なことを一人呂合も所詮二日坊主ではあった。

年改まで早々、くだんの飲みやの仕事初めて遠慮して酒を飲む。益を重ねながら例の条件付きでどこかいいところはないかと切り出せば、即座に「それは川崎某所の××不動尊がいい」とのご託宣。初めて聞く名前だが何しろ酒が入っている時的话だからすぐ決まる。その後、「正しくは翌日早くか」女房に計ると「どこでもいいんじやない」とのご返事。いい出したべのくせに直接自分の厄でないから無責任なことをひたしまして、「よし、お前も一緒に来い」ということになつて、次の休日に出かけることとなつた。

飲みやの女将が微に入り細にわたつて教えてくれた道順をたどつて、お目当のお不動様に着いてみると結構人出がある。やや裏切らぬが、なんとかねんねの財布をはたいて大魔摩をもらった。おまけに、千葉県警春の定期那人事異動があつて、小官も警務部厚生課に異動になつた。厚生課異動になつて「やっぱ今年は健康管理の年か」とお不動様を思い出したものである。

そしてかれこれ八ヶ月、共済組合と互助会、

財形貯蓄に各種保険、育英会や×基金、レクリエーションとクラブ活動の助成、旅行や

生活物資のあつせん、商店の管理エントラ

と幅広い分野の仕事をも慣れ、また、健康相

談室の運営等健康管理面の仕事も一応板についた(と自分では思つてゐる)。ただし、

あくまでも仕事の上で、自分自身のこととなると厄年でもあるといふに決してよい。だから、警察学校の幹部研修等で「中高年の健康管理について」などと銘打つて話をする時など、内心忸怩たるものである。例えは、酒の飲み方についてである。

「アルコールにして一日八〇グラム以下、ウイスキーなら水割ダブルで三杯程度、ビ

ルで二〜三本、日本酒なら三合程度、そし

て週に二〜三本、日本酒を設けること。」一日一升

〇グラム以上毎日摂取すれば二〜一〇年で肝臓を害い、精神に障害が発生する可能性が高い。ガブ飲み、早飲みは絶対に避け、酒肴は

たん白質性のものを豊富にすること……」と

やるのである。言つてゐる本人がほとんど守

れていないのだから、言つてみれば医者の不

養生、紹介の白骨類である。朝不快感を伴

つて目覚める時必ず「よし、今日は節酒

厄年々々」と思うのである。ところが後とも

なって、先頃してなられた都家かつ江師匠が

よく歌っていた「酒もやりません、女もやり

ません……それで百まで生きた馬鹿がいる

……」の気になってあとは一鴻千里、しごう

して翌朝……、これの繰返しである。

「酒は飲みたし生命は惜しい、御し難きは自分自身である。こんな優柔不断、意志薄弱な男である。お不動様もほどとつて困つてゐない。このまま厄年は無事息災ですごすことができる。お酒を持ってお礼参りに行かずばなるまい。たかが厄年、されど厄年なのである。

入院する場合の三九年度 千葉県警

武道の思い出

長 山 大 乘

として翌朝……、これの繰返しである。

「酒は飲みたし生命は惜しい、御し難きは自分自身である。こんな優柔不断、意志薄弱な男である。お不動様もほどとつて困つてゐない。このまま厄年は無事息災ですごすことができる。お酒を持ってお礼参りに行かずばなるまい。たかが厄年、されど厄年なのである。

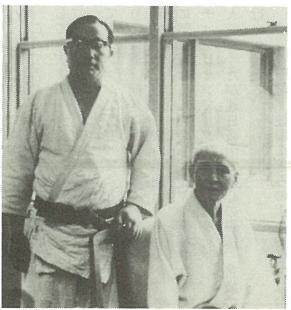
厄年々々」と思うのである。ところが後とも

なって、先頃してなられた都家かつ江師匠が

よく歌っていた「酒もやりません、女もやり

ません……それで百まで生きた馬鹿がいる

……」の気になってあとは一鴻千里、しごう



三九年度 千葉県警

連隊で辻政信大尉らに厳しく鍛えられた。そ

こで奮起一番して幹部候補生となり、昭和十一年春に、謀略部隊肥原(ツーハイ一エン)機関連にて、勇躍満州へ渡軍して、死生の巷、特に元氏県の空襲でチヨコ式機関銃弾で空中に飛ばされて悶絶、山西戦・徐州戦でも半死半生だった。河南省中牟での黄河決済では空腹の籠城、一方月、土壁下で見つけた敵側の慰問袋から、毛沢東の「持久戦について」を見見貧り読んで動搖したものであった。その秋から一年ほど、黄河中流北岸の咸陽等に移った。大極拳の道場跡だった。

ててくれた道順をたどつて、お目当のお不動様に着いてみると結構人出がある。やや裏切らぬが、なんとかねんねの財布をはたいて大魔摩をもらった。おまけに、千葉県警春の定期那人事異動があつて、小官も警務部厚生課に異動になつた。厚生課異動になつて「やっぱ今年は健康管理の年か」とお不動様を思い出したものである。

そしてかれこれ八ヶ月、共済組合と互助会、

財形貯蓄に各種保険、育英会や×基金、レ

クリエーションとクラブ活動の助成、旅行や

生活物資のあつせん、商店の管理エントラ

と幅広い分野の仕事をも慣れ、また、健康相



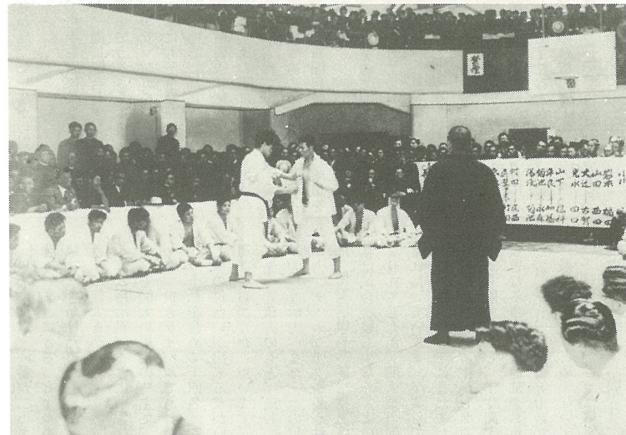
道場（昭和四十九年）
菊田地中



九州遠征（昭和 50 年）
福岡 志賀島

45

思い出の一枚



明大対警視庁の対抗試合（昭和 8 年 6 月）
(右) が明大古賀治郎選手（明大OB、作曲家古賀政男氏実弟）
説明が p. 56 にあり



和泉校舎（昭和三十一年十月）
神徳比小
永山嘉川

44

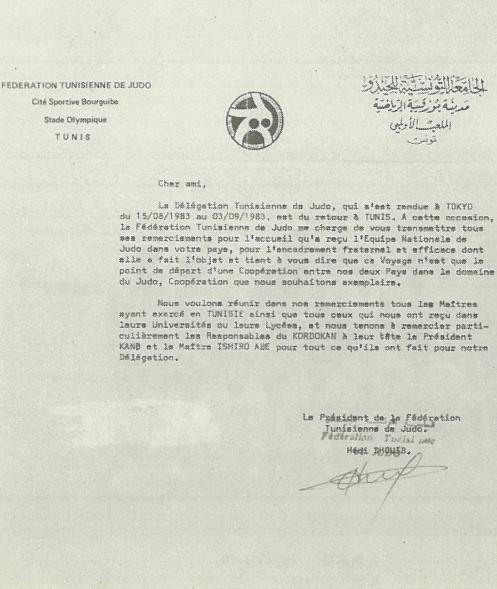
道場往来

合同練習

かつて押切義春、段士雄二、小藤田勝彦、太田正人の各氏が現地に赴き指導したチュニジアのナショナルチーム十名が、八月十日から五日間明大柔道部と合同練習を行った。このチームの力は、大学生のレベルには少し間があるが、アフリカではセネガル、モロッコ等と當時二、三位を争っている。練習期間中、明大中野高校チームと三試合を行った。敗であったが協会の要職であるドレイブ團長が見事に来た最終日には勝っていることから、実力的には高校生より少し上の様だ。尚帰国後協会会長名で丁重な礼状が部宛に寄せられている。

このチュニジアチームと入れ違いに、オランダナショナルジュニアチーム（フェッサー監督以下二十五名）がやって来て、同練習を消化した。ジュニアということで、一七、八歳の高校生、大学生を中心としたチームであったが、猛暑のなかやわかれている。

チュニジア柔道協会会長よりの礼状



量に差のある部員を相手に帰国の前日まで頑張った。合同練習終了にあたってフェッサー監督は次のように語っていた。「日本滞在三週間のあ

いだ二、三の大学道場や警察関係の道場を回ったが、明大道場での練習が一番の勉強になった。技術的な面で教わることが多かったことはもちろんあるが、部員の諸君が力の違う我々のメンバーへ敬遠したり馬鹿にしたりしないで真剣に稽古してくれたことに感激している。明大の柔道部員は紳士が多いといふ印象だ。実は最初道場を見た時、他とくらべて狭くて古い感じだったので、正面についてこれると思つたが、道場の見かけと内容とはまったく違つており、自分の不明をはじめるとも、遠征後半の大學生期間にこの道場で練習出来たことは、非常に幸運であったと思つた。

道場の狭くて古いのは本当だが、その他のコメントはいわゆる外交辞令であろうから、相当割引いて受けなければならない。しかしお世じでも紳士とわれて悪い気はしないし、きかれるよりはましだろう。チュニジア、オランダのチームの他、九月に西独ナショナルチームが三日間、世界大会日本代表チームが數日間、十月には、中尾保裕、滝沢良、一沢秀明、森園文成、小山賢司とOBが多い東京消防庁チームが週間、それぞれ合同練習にはげんだ。



セレクション　（選考会）

来年度の新人セレクションが十一月一日道場で行われた。今年これに参加した高校生は五名で、百瀬部長、姿師範、篠巻監督、上村助監督、開前監督環境のもとで技を競った。又実技試験終了後、部長から受験勉強について懇切な要綱説明をうけた。近年、入学の門が益々せまくなり、この日集まつた人部希望者の中から、はたして何人の高校生がはれて来るこの道場に顔を見せることが出来るか。只々彼等の猛烈強に期待するのみ。

佐々先生

土曜日の練習は二時半に終るが、週末のこの時間になると一人の老紳士が道場にいらっしゃる。大学の練習終了後道場をつかつている明大中野高校の部員とさうとうと稽古をはじめることもある。この老紳士は柔道関係者というより医学界で著名な佐々龍博士である。先生は東大柔道部OBとして柔道界との関係も深いが、永年京医歯科大学の教授をされ、つい先年まで九段坂病院の院長も兼任されていた内科の権威である。

現在は理事として第一線は退かれているが、週に一度だけ設けられている先生の特別診察日には、柔道関係の患者で診察室がぎわうときている。先生は第一回から今日まで、日本全国選手権大会と、国際オリンピックをはじめ東京で開催された国際柔道大会の医師長として御苦労されている。

老大家の稽古はどうやらかといふと寝技が多いのが通常であるが、先生はもっぱら立技で高校生を相手に五本、時間にして四十分はやる。真夏の暑い盛りなど「先生少し稽古量が多いのではないか」と中野高校の工藤欣一監督が心配して注意しているが、中野高校の工藤先生はもう立派な高齢者と思えない稽古である。学者として、医者として立派な仕事をされ、八十歳に近い今も元気で稽古にはげまれている先生は、学生や高校生にとって正に文武両道の生きたサンブルである。皆さん

の練習のじゅまをしているのではーとさん
に気をつかっておられるが、明治の道場に親
しんでもらっていることは我々にとってむし
ろ名譽なことである。

ニッケネーム

近頃はエスプリのきいた面白いアダ名称
きいかれないが、道場を訪れるOBの間で
二人の部員にアダナがつけられている。一人
は三年生の下君でその名も「南海の黒豹」も
う一人は三年生下君の「紀州の赤まむし」で
ある。T君は奄美大島の出身で、南海の黒豹
とは本拠地の奄美大島出身の大関若狭津につけ
られたニッケネームである。又同島出身の
プロ野球南海ホークスの池之上選手も同じ様
に呼ばれている。奄美大島出身三人目の有名
スポーツ選手を明大道場からという願いをこ
めてつけられたということであろうか。

赤まむし君の方は、七三キロの小鯛ながら今

年の団体戦でギューラとして奮戦したが、こ

のアダナは彼が試合や稽古で見せる戦闘的な

態度があの獰猛な小動物を思われるといふこ

とで、風貌云々ということではない様だ。も

つともマムシの顔つきを知っているものはあ

まりないがしかし、高校生のなかにはこ

のH君にいらまるとトタンに落着かなくな
ってしまうというのがいることはたしかだ。
これも又困ったことです。大学祭には各種の
マムシといえば、たしか久米勝先生にもこ
の異名がつけられていたときている。久米
先生もやはり小鯛の業師であつたことから
けられたものであろう。H君は久米先生よだ
いぶ雰囲気がちがう青年だが、容貌はどこか
似たところがある。先生は明治大学往年の名
選手である。一代目赤まむし君の精進を期待
したい。このH君、下君は指導陣の期待があ
つてよく特訓を受けている。先日も裏技で上
村監督にしごかれ戦意を喪失しかけたH君
に、助言の「コラ赤みみずシッカリレーヤ素人ボク
まむしには三年早い」今も現役にドン・ドン
稽古をつける神永先輩、「二〇キロ近く体重
のT君との稽古を終り「おいたT、今年君が
南海の黒豹になるか黒豚になるかの境だぞ」
時にはこの様なことになるのである。

ノックアウト

秋は大学祭のシーズンである。政治の季節
といわれた一時期のサッバツとした雰囲気は
なく平和ムードの大学周辺である。キツネに
つかれた様なアカ学生には困つたものだが、
芸能アトラクション等の会場に群がっている

学生達の雰囲気はアカデミックとは縁遠く、
これも又困ったことです。大学祭には各種の
学内素人スポーツ大会が開かれる。OBの中
には、各部対抗の皇后十周リレーや素人ボク
シング大会に出た思い出を持つ人もいるだろ
う。そのボクシング大会に柔道部の一年生が
三人、上級生の命令で出場した。三人ともも
ちろん全試合KO勝ちで優勝したが、一番
さいたのは、八五キロ級に出たA君の試
合ぶり。重いクラスなので出場者は少なく優

広告 後輩に一層の支援を! 明柔会費納入のお願い



年間 12,000 円以上

振り込み先

関東地区会員

東海銀行東京営業部
店番号 620 普預 432 326
明柔会関東支部 入江秀明

関東地区以外の会員

三菱銀行鉄鋼ビル支店
店番号 004 普預 4216342
明柔会 吉井敬吉



会員諸兄へ

明柔会会長 姿 節雄

年の瀬もおしましては、益々御健勝にて御
活躍のことと思ひます。

各位におかれましては、益々御健勝にて御
母校、明治大学柔道部も本年度の主な日程
を終えて先日無事に納会を終了いたしました。
ふりかえって本年度の成績を見るとき、伝
統ある明大柔道部の成績としてはまだ不
本意な結果ではありますかが、漸く低迷期を脱
し、諸兄が鶴首にて待ち望んでいた優勝をね
らえる位置に到達いたしました。私も最近勝
利の美酒を諸兄と味わうことが出来ること確
信しております。これも一重に会員各位の
物心両面に亘る日頃の御後援のたまものと、
厚く御礼申し上げる次第です。来年も現役学
生にたいするより一層の鞭撻と支援を願い、

昭和人志

熊本県の巻



尚武の氣概をよしとする九州において、就中肥後熊本はその氣風が著しい。柔道の全国的な大会などでよく熊本県チームや出身者が上位を占めているのも偶然のことでは無い。わが明柔においても熊本県は前回の福岡県にならぶ有数の士を産している。モントリオール五輪無差別級を制した上村春樹、全日本大会、世界選手権大会で活躍した岩田

一、吉永富義（二年一度 旧制八代中学）
日本大会、世界選手権大会で活躍した岩田



七段、得意技、片衿背負、体落。学生時代に時の第一人者醍醐氏を講道館月次試合で投げた（背負投）のが自慢。熊本明柔会

御大 四八年度の主将吉永浩三の父君、地元では技の息子、力の親父という。

二、吉原克己（二年一度 潟ヶ学高校）
肥後銀行を昨年退職、金融團柔道大会の功労者。

三、米澤泰興（六年一度 旧天草中学）
戦後第一回の学生チャンピオン。少年時代より天草の怪童といわれ、その怪力ぶりは今も地元天草はもちろん、県内一円彼を知る人々の話題にのぼる。戦後の、明大柔

道の基礎をきずいた功労者の一人である。その後の明大柔道部の基礎を成した金子泰興等多士済々である。今回人は人物寸評という型の人の国記としたが、会員が県庁所在地の熊本市より城南地区の八代市とその周辺部出身に多いことは興味がもたれる。

△文中敬称略▽



道の基礎をきずいた功労者の一人である。新日鉄を退職後、ダイエイ金属㈱の役員として現在岡山市に在住。

四、松岡義隆（二〇〇年度 八代高校）



第一回全九州高校大会で、松岡、徳永のコンビが大活躍し、八代高校を優勝に導いた。大外刈に対する抵抗力が強く、現役時代の故曾根先生もよくこの返しをくつぐったと述懐している。また、多くの部員の松岡隆之の父親。並以上の豪爽である。松岡商事㈱代表

五、松下邦雄（二〇〇年度 天草農高）
温暖な本渡瀬灘の生まれらしく温厚な人柄で、この人にいじめられたという後輩は少

ない。体も大柄、技も右大外刈、跳腰と大技がすきであつた。現在福岡県常盤高校教諭（背中でたくさんできていた大きなニキビはなおつたでしょうか）

六、徳永三幸（二年一度主将 八代高校）

前記松岡OBとは高校時代は同期 富士鉄（現新日鉄）入社後、故曾根先生の契めで入学、黄金時代を築く。現クラレ福岡支店次長、次女は軟式テニスで全日本クラス。

七、鶴田三千人（旧姓尾田 二〇〇年度 天草高）
現在、天草は本渡市中村の郵便局長。

八、石井勢祐（二〇〇年度 九州学院）
明大OBの参議員秘書から、現在ゴルフ場役員 在学中ウエーリング部より柔道部に転部。



中野氏を慕つて、明大志望、合格するや情熱を燃やして正選手目指し、四年生でレギュラーになる。現熊本県柔道連盟幹事長、藤本一博（五年生主将）を特訓中。全日本柔道選柔道個人チャンピオン。

十二、佐伯和成（二年一度 八代高校）

三大急流の一つ球磨川で知られている人吉市出身。人吉高校時代の大器と騒がれ、人吉の先輩、金子OBのすすめで人吉高、年生より東京の高校に転校。柔軟で長身からりだす左右の技は素晴らしいだった。副主将。

十三、竹原弘志（二年一度 福岡支店勤務）
二年生時の手首骨折がその後の伸長を防げたが、期待の部員であった。現在、市内セントラルホテル勤務、熊本市出身。

十四、宮崎照満（二年一度 九州学院）
柔量ながらきびしい柔道であった。現在

小川町の出身。現助監督上村氏宅は約三百米隣。工学部卒業を吉永OBに約束した話は、現在でも郷土の後輩へ語り継がれている。現在西松建設多良木出張所所長。

十五、岩田久和（二〇〇年度 鎮西高）
家業の建材販売業、宮崎商会専務。父君を助け、きびしい業界で健闘中。八代市出身。



熊本に岩田三兄弟ありとうわ。高校時代より大物の片鱗をみせる。体躯は小柄ながら秘めた闘闘の持ち主で、肥後男子の典型。明大受験を決意して上京の際、神永OB（当時監督）を約三時間、明大道場下に待たせたエピソードあり。第七回世界選手権重量級二位、全日本選手権優勝、熊本市出身。

十六、上村春樹（四七年度 八代東高）
高校三年生の時、福岡国体で優勝。当時の神永監督の眼にとまり、坂本市OBの口説きによって、明大入りが決る。不知火のロマンと五木の子守唄で唄われる九州山地のきびしさがこの好漢を育てた。モノトリオールオリンピック無差別級チャンピオン、全日本選手権大会二回優勝、現在明大柔道

十、中野雅博（二年一度 八代高）
柔道部出身には珍らしい工学者。熊本は

久和、戦後の黎明期に文字通り刻苦研鑽して

部助監督、全日本コーチ。

十七、吉永浩二（四八年度主将 鎌西高）

五才児の頃より父親の柔道衣姿に接し、修業を重ねる。高校入学時は、強い学校に行つてインターハイで優勝するのだが、いつて父親を泣かす。岩田久和三年、吉永一年でその夢を果す。俊敏な動きから立技、固技の連携は今でも語りべきとなつてゐる。現在八代市内にある実家十二店舗を、父子鷹で商売の無差別級日本一を目指し巡回奮戦中。八代市出身。

十八、田中弘一（五〇年度主将 鎌西高）
四六年度高校重量級チャンピオン。岩田、吉永を慕つて入學。左技の腕豪さは有名。卒業後は旭化成岡から名古屋へ、現在第1線の営業マンとして、アドランスをなびかせて頑張つてゐる。熊本市出身。

十九、岩田克之（五二年度 鎌西高）
久和の弟、小兵乍ら鋭い技は定評があつた。現中央競馬会 熊本市出身。

二二、古川秀夫（五四年 熊本第一工業高）

二〇、清崎威郎（五四年度 鎌西高）
これも小兵ながら鎌西仕込みのハイと固定技は定評があつた。自ら整骨の修業中。将来は郷土で開業する予定。熊本市出身。

二三、古川誠也（五六年度 鎌西高）
生来の温厚な性格は誰にもすかれる好青年。現在、松岡商事勤務。ガスマンを目指し、社長であり先輩でもある松岡OBのしきを受け奮戦中。八代市出身。

二四、藤本一博（五七年度 主将 鎌西高）
高校中量級全日本ジュニアのチャンピオン。現在七二キロ級に体重をおとし、この級のチャンピオンを目指して稽古はげんきである。現在熊本県警察学校学生。熊本市出身。

現役の学生には、現主将の中村正浩（鎌西高）

十九、岩田克之（五二年度 鎌西高）
は本年度の学生選手権七八キロ級で準優勝しているが、技のキレイと柔道のセンスには見るべきものがあり、卒業後の精進が期待される。

熊本県の巻 終り (次号鹿児島 宮崎)
プラスチックの御相談は当社迄
旭モールディング株式会社
常務取締役 福田二郎
(33年度卒)

本社 東京都足立区宮城1丁目3番25号
電話 東京(919)3191 (代表)

三進工業株式会社

取締役社長 三船芳郎

工場製作品 各種塔構類／各種圧力容器
建設工事 (国内及び海外)
プラント 石油、化学、製紙、製糖、製塩
環境装置 都市処理冷暖房、清掃工場、
汚水処理装置、排煙脱硫・
脱硝装置
鉄構 高層型煙突、導水用管、扶
骨、橋梁、水門扉、大型貯槽
産業機械 製鉄機械、プレス、クレーン、
原子力機器、その他

本社工場=川崎市川崎区小島町4番4号 TEL 210
電話川崎(044) 266-0261(大代表)
建設機械=川崎市川崎区日ノ出1丁目10番1号平210
電話川崎(044) 266-0273(大代表)

各種ウエス 工業用クリーニング
安全用具一式

(株)立花商店

代表取締役

立花敏明
(34年度卒)

〒720 広島県福山市港町2-77
TEL 0849-23-0180

ビル管理業

第一企業中央(株)

代表取締役社長
細川隆夫
(38年度卒)

輸出入・国内取引
鉄鉱石・その他鉄鋼原材料の輸入及び
鉄鋼製品の輸出

東南貿易株式会社

社長 根本 静夫

千代田区大手町2-6-2 日本ビル6階
TEL (279) 2771-5

名古屋出張所 名古屋市中区栄1-1-1
名古屋製鋼所名古屋センター TEL 0590 033 518
八幡出張所 佐賀県杵島郡杵島町杵島1番地3
TEL 0936710261-2
若津出張所 福岡県北九州市若津町若津1番地
TEL 0975 22 1054
大分出張所 大分縣大分市大学前町原川原町CCの1大分鉄鋼ビル
TEL 0975 053 201
広島出張所 広島市西区江戸堀1-15-27 反対ビル
TEL 092 030 1649
大阪販賣所 大阪市西区江戸堀1-15-27 反対ビル
TEL 06(444)1296-7

〒141 東京都品川区中延5-7-8
TEL 03-781-1218

わが青春の駿河台(二)



良き時代の若きサムライたち

西田直吉

(一)

天覧武道(柔道)大会——東京代表選出試合が、昭和九年

残暑ようやくやわらいだ講道館で挙行された。

その年三月明治大学を卒業し、東京鉄道局に就職した西田

東生(筆者の兄)は一般代表として出場した。新社会人として油の乗りきった彼にとって、この日は生涯における最高の晴舞台であった。

初戦の相手は、学生代表早稲田大学の山口利雄五段である

双方組んで場の中央から左へ廻りこむ。互いに機をうかがつて……一分……二分経過 山口選手の左脚が閃いた一瞬、兄

の裂帛の氣合いと共にへ燕返し^{シカシ}が決まり、戦士の巾広い肩

が畠にどっと落ちる。

〔第二戦は警視庁代表、必勝の寝技で聞こえた村田与吉五段

私の家は東京下町の、上野の近くで旅館を営業していた。

(二)



昭和9年度卒業記念撮影 中央三船師範、その右西田東生。小田、葉山先輩のほか、なつかしい諸先輩の現役時代の顔が、あちこちに見受けられる。

昭和六七八年頃の年に一度の大掃除の日は壯觀だった。この日、早朝から明大の部員がぞぞぞと十人近く家に現われ、柔道衣のズボン一つとなり、各客室の畳をはがして戸外にかつき出し、壇に並べて竹べらでたたく。別動隊は天井を掃い、バケツのリレーで、すすぐれた雑巾が投げかわされ手から手へ。

近所の人達が何事かとのぞきこむ。通りすがりの町内の娘さんも立ち止まるが、若者たちの「王のような隆々たる筋骨の上半身を見上げると、頬を染め袖口で顔を覆い足速やにかけ去る。やがて陽も傾むく頃、さうし終えた畳を元に戻すと、サムライたちは大挙して銭湯に繰り出し身を淨める。

それからが大変だ。広間に母や姉や中たちが総動員の酒肴が仕度され、慰労の宴となる。酒も肴もたちまちカラになれる。夫たちは驚きの笑顔をたやすず追加追加と連びこむ。座は熱気を加え「白雲なびく駿河台……」から「聞いてみたかよ明大の柔道部……」の校歌部歌が出る。當時流行の「東京音頭」「島の娘」につづき「国境の町」「赤城の子守唄」と、案外美声で朗々と合唱される。三島宿のみやげの替え歌「三島女学生の立ちしょんべん……もとび出し、爆笑のうち慰労宴は最高潮に達する。

浅草仲見世うらの小料理屋「松代」は、可憐な姉妹娘が店に出て愛嬌をふりまき、その向きを喜ばせていた。

である。低い姿勢であと「さる」村田選手を追って兄東生は胸を張り前へ前へと出る。「危ない」と予感した、と、応援に咽喉をからした杉町仁市先輩は、この日の経過を私たちに伝えて、こう洩らしている。兄の「跳ね腰」の崩れから両者同体に落ちたところを、村田選手はたちまち巧妙な寝技を持ちこみ、蜘蛛の網が巻きつむように袈裟固めが進行する。「抑え込み三十秒」と、審判の声。

「西田、起きろ!」と声援が数か所でとんだ。

村田選手は東京代表を勝ちとり、天覧試合で全国を制した。

兄東生は在学中、学生軍の選手として満州・朝鮮軍との対抗戦に遠征・東西対抗戦にも出場し、就職後は全国鉄道局対抗試合で東京鉄道局に優勝をもたらす等、地道ながらも一步歩と固めて進む柔道マンだった。

亡兄から受けた感銘深い教訓は「その人から柔道を取り去っても、社会人として通用する人間でありたい」であった。

この店で兄東生が二三の部員と飲んでいた。父が客筋と一緒に入って来て席についた。すでに酒気を帯びて氣嫌だった父は、息子たちを認めると、「東生、ここへい」と手招き、ついうかりと、「皆さんに、たまにはご走してあげるのもいいことだ。勘定は俺につけておけ」と失言した。

「松代」の姉妹が「松井」だと「岩本」だと、六大学野球の明大ファンになるほど兄たちは足繁くかよいだした。

猿之助横丁の「勝利鮨」の主人夫婦は父が舗人である。兄たちの集団で店はタネ切れた夜もあった。

此の頃、父が母によくこぼす。

「東生だけなら夕方が知っているが、ごそり連れてくるから、たまたまものではない」

母は、にっこり肯いて聞いていた。

言問橋通り、おでんの「お多福」も父の顔がきいた。某夜その店の大鍋の煮えたつたカンモドキとチクワの上へ、兄たちの中の酔った一人が帽袖をおとした。焼豆腐が帽子のツバのあたりで湯気をたてている。

昭和六年も暮れに近い頃で、満州事変が勃発し、天津で日・中衝突——満州派兵と続いたが、国内は軍需景氣と殷賑産業の余波で、まだまだ良き風かな時代だった。

「この学生ども、いかげんにしろ」ときり立つ客の若衆を制して店の主人が「まあまあ……」と仲にはいり、すぐ鍋と中味を替えさせた。

側に居あわせた常連のヤギ髪の区会議員が、「悪気のない

学生さんの粗相でした事だ。学生さんだから勘弁してやんなさいよ」と、財布からノイシン（十円札）を数枚ならべる。「すいません」と兄たち。さあ、さあ学生さん続けなさいよ」と他の客も同調した。その場はもとでかえる。

——あの頃は、良き時代、だったと思つ。私たちの学生時代に移りかわり、昭和も十四、五年となると、二・二六事件以来の軍のファッショナ化が進み、日・中戦争も深刻拡大し「学生だから」と許された世の中も「学生のくせに」と青春を謳歌する言動も敵視され、とめどもなく暗い流れに巻きこまれていった。

(四)

追憶を良き時代の昭和八年に戻そう。

兄のアルバムの中の一枚に、六月十日に舉行された明治大學對警視庁の試合の一コマがある。本学体育館内の試合場は満員の観衆で埋まり、両軍メンバーの勝ち取り表が掲げられ兄の親友古賀治朗さん（作曲家古賀政男氏の実弟）が奮戦中のスナップである。うしる姿の審判は、永岡秀一警視庁指南役であろう。

この写真のうらに、

——七対一、明大柔道部有史以来の大屈辱の日——と墨書きされている。

当時の警視庁は、明治大學に限り対抗戦を受けて立ったといふ。

その日、戦いすんで、兄たちの残念会の流れが私の家を襲

明柔会幹事会（後期）

六、一五 道場、委員会以下幹事一九名出席監督、助監督より大会に向けての現況と夏合宿の報告

九、七 道場、会長以下幹事二名出席、全日本学生大会の反省。

会報編集部より後期号の予定内容についての説明と意見交換。新人幹事による、姿先生を聞く会

十一、九 道場、会長以下幹事二四名出席、新人選抜テストの報告（監督）。明柔会費集納についての意見交換。納念忘年会、明柔会ゴルフコンペの日時の決定（ゴルフコンペは日時未定）、会報編集部より後期号の内容（決定）と発行日の報告。明大体育会発行の、全体育会員名簿についての報告。

三七年度、会員一七〇名は六月三〇日、明治大学小川町校舎にて総会を開いた。又総会終了後懇談会を行った。五〇名収容会

海水浴 柔道部は九月四日の全日本大会終了後、安房白浜海岸で一日間海水浴を楽しんだ後、一週間の夏期休暇を持った。

上村、諒訪 世界大会歓送会 世界大会に出場する。上村助監督（コチ）と諒訪君（五五才）級選手の歓送会が、月日、道

場でO.B.、学生会同で開かれた。参加O.B.四三名。

明高柔道部OB会 バーティー 明治高校柔道部O.B.会（福田次郎会長（三年度）、会員二三〇名）は、十一月一九日、六木本のレストランで懇親のパーティーを開催した。参加した八〇名のO.B.が

長谷川、松田 三位

十一月二十日 東京で行われた 全日本柔道

ニア選手権大会に東京代表で出場した、長谷川敦（一年 八六級）は、ともに三位に入賞した。



つた。

母が馴れた手順でビールと枝豆をもてなす。田口幸二さん「俺が負けていかつたら」と青ざめて肩をおとす。小田が、その肩をたたいてなぐさめる。容貌魁偉な古賀治朗さんは、ワーワンワーワーンと扇のような掌で両眼から流れる涙をぬぐう。

十年も兄と年下の私だが、寝技をぬけ出てその場にすわりこみ「スポーツマンでいいな」「明大の柔道部つていいな」と、この光景をじっとながめていたものだ。

晩年の兄西田東生は還暦もちかい齢なのに、招かれて沼津の高校の柔道部の指導にかよった。そして、ひそかに私に述懐した。「東生君は大きめで力もあるなあ、その連中が遠慮赦なく次から次へ全力で俺にブッかかる。あれでいいんだが、十人も続くとしんどいよ」

柔道をなによりも愛し、生涯柔道と、その心と組みあつて離さなかつた兄西田東生。

昭和五十二年七月二十一日 永眠。（七段）享年六十九歳

法名 尚道院講武東生居士

（昭和十六年十二月度卒。日本電気精器（株）顧問）

十一月二十日 東京で行われた 全日本柔道ニア選手権大会に東京代表で出場した、長谷川敦（一年 八六級）は、ともに三位に入賞した。

久々の旧交をあたためた。

足

車

田 中 章 雄

この技は故三船十段の得意技の一つでタイミングよくこの技がまつた時のすばらしさは、これぞ柔道の醍醐味といえるほどすばらしい技です。しかしこの技は一般的には大変むずかしい技の一つといわれていて、研究技としては時々練習されている様ですが、実際の稽古や試合ではあまり見ることの少ない技です。私がこの技をおぼえたのはちよっとしたきっかけからでした。私は大外刈を得意としていましたが、背が低いせいいかよく返されたものでした。そんな事からいろいろ研究をして、くずしを後方に大きくする事によつて大変スマートに、かつ危げなくこの技を掛ける事に身につけることが出来ました。私のこの技は正確には大外落と足車の中間の技といえるでしょう。しかし試合のきまり技として、諸先生から足車であるとの評価をいただいており、私は自信を持って足車と呼んでいます。

具体的な説明の前にこの技の大きな特徴について述べておきます。①大変に実戦的な技である（試合向き）。②返される心配がない。③外人に向く技である。

足車基本技、組み方（図A-1）（図B-1）

組み方は人それぞれ異なるがこの技に於ては出来るだけ図A-1の様に引き手は相手の肘の下を持つて欲しい。右手は相手組みの方は相手の肘の下を持つて欲しい。右手は相手

の首の下、鎖骨の上あたりのエリを持つ。右手、左手にて指定の場所を必ず持つて欲しい。引手が相手の肘の下を持つない場合でもなるべくその部分（上側内側でもよい）を持つこと。引手でエリを持った場合はくずしの時まったく効果がなくなってしまいます。（注）説明はすべて取右組で行います。

組の相手は大変かけやすいタイプです。

くずし（図A-3）

この技のかけにくいタイプは、互いに右自然体で、相手が右変形に組んだ場合です（左組は左変形）。この技のチャンスは相手が一步さがった時です（図A-2）。相手が後方に一步さがりながら体重の移動する時がチャンスです。従つて左組の相手は大変かけやすいタイプです。

くずし（図A-3）

受の右足が一步さがる時、取りの両手にて今まで受の体重が左足に乗っていたものを右足にさせるように、すばやくねじふせます。右手はボクシングのファックパンチのごとく、下を押し、左手は取の左腰の方向に力強くまっすぐ引く。この両手（くずし手）が違う方向が違う）の作用によって受の体重は完全に右足に乗り、その上体重は受の右足外側に乗りります。

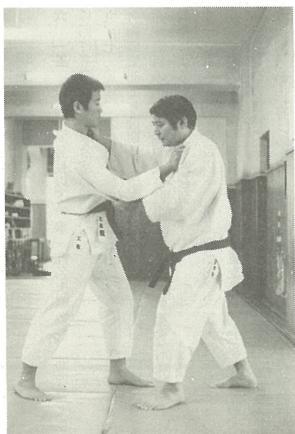
小豆式基本一圖A-1 A-2 A-3



A-4



A-3



A-2



A-1

かけ方（基本）図A3—A4—A5

受の右足がさがる時、取の左足を半歩程前進させます。取の右足がタタミにつくやいなや、前述の両手の作業と合わせて右足を持ち上げ、受の右膝に取の右足首（アキレス腱）をかけます（図A4）。すなわち受が一步さがる間に、取は左足をばやく半歩前進させ、左足がたたみにつくとすぐ両手でくずしながら、右足首を受のひざにつけたままでいます。

この様に説明しますと力のいる技の様に感ぜられます。タイミングと方向さえ正しければ、あまり力もいらずそれはものの見事に一本を取ることが出来ます（図A5）。受の投げられる感じとしては、後にさがってゆく感じが残っている間両肩がまわされ、右肩が下方にさげられると同時に右膝がガクンと折れ、投げられる。この時完全にくずし、受の体重を右足に乗せてしまえば、どんなに大きく、力があつても返される心配はありません。相手の体重の乗っている方向を攻めること。私はこれが柔道の全ての技に共通した基本原理であると思います。

足車（取右、受左の場合）I（図B1）

組み方は一般的に引手を取れといつてもなかなか難かしいものです。とくに受が左組の時、そう簡単に袖を外側から持たせてはくれません。私は受が左組の時には（図B1）の様にいつも受の右袖の内側を持つ様にしています。こうやって持つとあまり引手のとりあいにならず楽しく稽古出来ます。又、よく高校の先生が引手は絶対外側から制する様に指導しているのを見ますが、私の考え方では比較的体が大きくて素質

掛け方

くずしは、ほぼ基本形と同じではあるが、極端に受が左変形の場合（受の右足が極端に後方）は、より一層取は両手にて受をねじふせないと、足をかけた時なかなか受の右ひざが折れますが、投げる事が出来ません。この場合引手は基本形よりも強く引く事がコツです。投げる方向は、準備体操の側方体操（片手を上げ、首・肩を直横にまくる）と同じ方向です。一ぱつで決まらない時は、しつこく右足首を受けの膝にあたるまではなき、ケンケンで追うこと。

足車（取右、受左の場合）II（図C1）

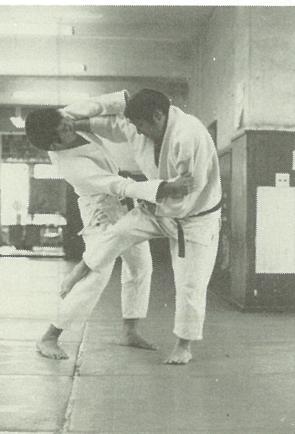
組み方は受が左組で、取の右手を受の左肱で制して来た場合（図C1）取は自分の右うでを逆に受の腋の下に押しこんでゆく。

掛け方（図C2）

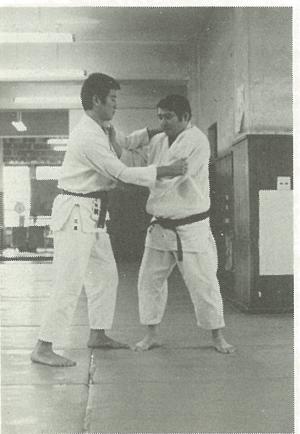
取は充分に右腕を受の腋の下に押し込んで掛る準備をしておくことがまず大切。準備完了後、取は右肱を持ち上げながら基本形の要領で腰をあまり上げない様に水平に前進しながら右腕にて受をこじ上げつつひねりをきかせて横にねじりたおす。ややもすると取の右腕を持ち上げる時、腰も同時にうき上がる傾向がある。腰を上げすぎるヒ横の方向にくずせず、その上胸と胸が合ってしまい、返される原因となります。



C-1



B-2



B-1



A-5

足車の変化技

- ①足車→小外刈、足車で攻撃しても投げれない時、小外刈に変化する。
 ②小外刈→小外掛→足車、小外をかけた時、受はいやがり掛けられない右足を乗せる。そこを足車に変化。
 ③大内刈→足車、大内をあさく掛け(刈らない)掛けたまま片方の足を半歩前進させた足車(基本形)を掛ける。

注意事項

- ①受が一歩さがったら一瞬のうちに掛ける。
 ②受の体重を右足一本に乗せる。
 ③背中をまっすぐにして掛ること。
 ④腰をまげず、腰を前に出す。



C-2

- ⑤受を両手で真横にひねりつぶすこと。

⑥一度で投げなければケンケンで追うこと。
 この技は大変効果的な技です。特に投げる方向(真横)が正しければ返せることはまったくありません。又他の技への変化も出来ます。一見難かしそうですが、コツさえ身につければむしろ易しい技です。稽古の時どんどん足車を出して自分のものにして下さい。

取り：田中章雄七段、
受け：工藤定康二段(明大中野高校)

三十六年度 雄和企画編代表

計 報									
11月	11月	10月	9月	8月	5月				
33	20	32	29	50	年度卒				
"	"	"	"	"					
丸谷武久氏	工藤欣一氏	山尾英三氏	久永峻氏	山肩敏美氏	作田順三氏	御尊父	御母堂	御母堂	御尊父

住所変更者名簿

卒	氏 名	〒	住 所	自TEL	勤 务 先	勤 TEL
33	三苦 隆憲	810	福岡市中央区今川1丁目 1番地19号	092 731-0845	栗本建設㈱	092 411-1728
33	稻木 茂男	310	水戸市泉町1-7-9		(有)保定	
35	水谷 昌白	511	三重県桑名市神楽町2-15	0594 21-7868	水谷精工	
37	野坂 良雄	227	横浜市緑区元石川町 3712-3-106	045 902-1003	岩谷産業㈱	03 555-5695
37	朝田 紀明				新日本鐵 大阪営業所	06 202-2201
39	飛島 義経	981 -31	宮城県泉市将監13丁目 11-1	02237 3-6752	東洋醸造	0222 66-2345
40	辛島 雄健	151	渋谷市初台2-22-13	03 320-0584	自家営業	03 969-3003
41	堤 昭輝	806	北九州市八幡西区熊西 1丁目4番19号	093 641-3438		
42	北瀬 晓一	671 -11	姫路市広畑区北野町北野 アパート15棟-31		新日本鐵 広畑製鉄所	
42	大森 昇	270	千葉県松戸市八ヶ崎 783-22	0473 44-2595	平和工業㈱	03 833-5786
44	須磨 周司				新日本鐵 福岡営業所	092 471-2111

新 入 会 員

47	新家 秀夫	731 -01	広島市安佐南区紙園町長束 1091-7 新家ビル 302号	082 237-4156			082 246-1423
37	石本 義明	950 -01	新潟市北山 789番地				0252 85-6221
37	栗田 和明	418	富士宮市光町9-27	0544 27-1410	栗分木材 本店壳場		0544 27-2222
37	春日 邦人	189	東村山市富士見町5-1-77	0423 93-5669	春日整骨院		
37	小林 芳昭	182	調布市西つつじヶ丘1-20-3	0424 82-3793	共栄火災海上 保険相互会社		
37	室地亘幸夫	344	埼玉県春日部市緑町 3丁目1-48	0487 35-5271	タカラ製靴㈱		
37	馬場 淳	165	中野区若宮1-5-12	03 337-0418	日本設計工業	03 970-8055	
37	古賀 悠三	421 -21	静岡県遠藤新田 176-8	0542 96-2395	嶋アルゴ	0542 81-7900	
37	大門 守	336	埼玉県浦和市内谷 2-5-6	0488 62-1416	シマダヤ 商事㈱	03 464-4331	

明治大学柔道部略史

我が明治大学柔道部略史は昭和五十年十一月二十二日、東京プリンスホテルで柔道部創立七十周年祝賀会が開催されたものとされ、「明治大学柔道部七十年の歩み」を作成配布されたものである。戦後学生柔道復活以後の記録は、昭和二十六年東京学生柔道連盟、日本学生柔道連盟があつて結成され各自試合成績等が記載されているが、創部当初より戦前の記録が少なくて不詳の点があったので「明治大学柔道部七十年の歩み」を補足するつもりで、年代順に私の手許にある資料でまとめたものである。

古い先輩の方々で、この略史中間違いその他お気付きの点がありましたら、御指して書き戴ければ幸甚に存じます。

		明治 年 度		関連大会	
		大正 元年	四年 四年	三年 四年	二年 三年
「柔道は人間形成の一大修業なり、礼儀を正しく質実剛健を旨とする」を創部の精神と掲げ同好の士十数名で創部した。	部長 松村定次郎教授 師範 内田 作造五段	道場は旧校舎の一部約五〇畳であった。	剣道と併用「武堂」の標識を掲げたかった。	財團法人講道館設立 内田作造五段師範を辞任、福田常雄三段（明治四四年卒）学校卒業後約二年師範の任に当る。	一一月信越地方に遠征その陣容 つぎのとおり。
師範一段 福田 常雄 三段 新免 純武 初段 離皮 青人					

大正

二年

三年

はつきのとおりである。
濱野 正平（大正八年卒）
牧野 政信（大正〇年卒）
花相清二郎（大正一年卒）
川上 忠（大正一二年卒）
鈴木 潔治（大正一二年卒）
松崎 太平（大正一三年卒）
綽田喜美雄（大正一三年卒）
藤田 保治（大正一四年卒）
東京学生柔道連合会設立 設立準備会出席者
嘉納治五郎師範
橋本首次郎五段（高師）
二宮宗太郎四段（早大）
高広 三郎四段（早大）
阿部 大六四段（慶大）
菅原 四段（慶大）
川上謙忠四段（明大）
本校は在東京の専門学校程度以上 の学校に属する柔道部員を以て て組織する。（規程二条）
加盟校一帝大、早大、慶大、明 大、拓大、農大、美術 改修工事、水産、高師、薬專、立 大、外語、日医大

牧野 政信	(大正一〇年卒)	濱野 正平	(大正八年卒)
川上 達也	(大正一年卒)	川上 忠郎	(大正二年卒)
鈴木 潔治	(大正二年卒)	松崎 太平	(大正三年卒)
繩田 喜美雄	(大正三年卒)	藤田 保治	(大正一四年卒)
東京学生柔道連合会設立	東京柔道連合会設立	嘉納五郎師範	橋本正次郎五段
設立準備会出席者		菅原 菅原	二宮宗太郎四段
		阿部 阿部	高広 三郎四段
		川上 忠四段	大六四段
		川上 忠四段	慶大四段
本校は在東京の専門学校程度を以て組織する。(規程)	上位会に属する柔道部員を以て組織する。(規程)	大 拓大農大、美術	加盟校—帝大、早大、慶大、明水産、高師、薬專、立大、外語、日医大

監修師範姿
節雄

八 年	入江 松次	(昭和二年卒)
	堀端狩夫(要)	(昭和四年卒)
	和久井弘康	(")
	杉町 仁市	(昭和六年卒)
	池田 憲二	(昭和七年卒)
	武内 五平	(" ")
	西田 明道	(昭和九年卒)
	西田 東生	(")
	田口 幸一	(昭和一〇年卒)
	福田 異	(" ")
	保科 永四郎	(" ")
	渡辺 慶助	(" ")
	葉山 三郎	(昭和一年卒)
	村山 要	(" ")
	宮川 周藤	(昭和一三年卒)

昭和二年（第四回）	二段 真尾明
昭和二年（第五回）	三段 阿部庄兵衛
昭和三年（第六回）	四段 佐藤春生（中大吉田忠一と勝負決せず預り）
昭和四年（第七回）	二段 笹川
昭和四年（第八回）	二段 久米 勝
昭和五年（第九回）	内外地、対抗柔道試合（於明治神宮外苑相撲場）
昭和五年（第十回）	内外地対抗柔道試合（於明治神宮外苑相撲場）
昭和五年（第十一回）	村山五段出場
昭和五年（第十二回）	一月予科 武道場完成
昭和五年（第十三回）	第五回全日本選手権一般壯年前
昭和五年（第十四回）	第一回葉山三郎準優勝
昭和五年（第十五回）	第一回東西対抗柔道試合（於福岡市外春日原）
昭和五年（第十六回）	西田東生五段、姿節雄五段出場
昭和五年（第十七回）	第二回アメリカ遠征
昭和五年（第十八回）	七月一日横浜港出帆約一カ月の遠征陣容
昭和五年（第十九回）	予定で行われた。

成講道館その他で稽古を継続した。昭和三年には姿節雄上京一統して葉山三郎・久米勝等も上京クラブ活動も益々活発に行われた。

全日本柔道連盟発足

秋、学生柔道禁止解除

柔道部復活

部長 出口林次郎

監督 葉山 三郎

師範 姿 節雄

部員 伊藤信夫、金子泰興以下

約五〇名

姿祭の開設

この祭は戦後荒廃のため食住に困窮する地方出身柔道部員数名を毎年収容育成し昭和四九年閉塞した。

東京学生柔道連盟結成

全日本学生柔道連盟結成

全日本学生柔道選手権復活

金子泰興優勝(個人戦)

世界柔道連盟結成

日黒柔道部合宿所開設

澄水園(福祉法人)理事長鶴目

柴八氏柔道部後援(昭和四九年まで)

で毎年優秀選手数名を澄水園に収容柔道部強化発展に努められる)全日本学生柔道選手権大会に優勝

全日本学生柔道優勝

曾根康治優勝

このころより部員の数も急激に増え部員の数は百数十名に及び道場は狭隘を極めた。

全日本学生優勝大会 優勝

全日本学生柔道選手権大会 優勝

全日本学生柔道選手権大会 優勝

末木茂 優勝

二八年

全日本学生

優勝大会

全日本学生

優勝大会

全日本学生

選手権大会

優勝

優勝

優勝大会

三六年

三五年

三四四年

三三年

三二年

三一年

三〇年

三〇年

二九九年

二八年

二七年

二六年

二五年

二四年

二三年

二二年

二一年

田中章雄二位

神永昭夫優勝

曾根康治二位

朝田紀明優勝

曾根康治監督就任

上野武則優勝

坂口征二位

神永昭夫優勝

軽量級 中谷雄英優勝

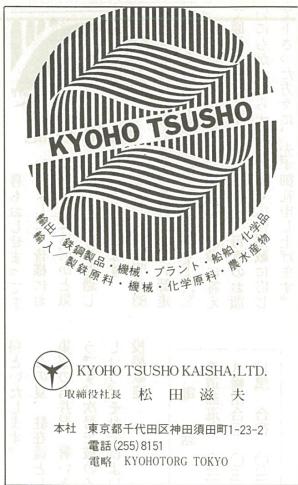
神永昭夫二位

重量級 山本裕洋二位

無差別級

四八年	全日本学生 選手権大会 優勝大会 全日本学生 選手権大会 選手権大会 選手権大会 選手権大会 選手権大会 第八回世界 選手権大会 全日本選手 権大会 世界学生選 手権大会 全日本學生 優勝大会 全日本學生 優勝大会 全日本學生 優勝大会 （選手権の部） 中量級 原吉美 優勝 無差別級 丸谷武久 優勝 神田和夫監督就任 三位
四九年	上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五〇年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五一 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五二 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五三 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五四 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五五 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五六 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五七 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五八 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
五九 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位
六〇 年	（選手権の部） 上村春樹優勝 表彰（最多出場）関勝治 二位

四四年	第六回世界選手権大会	重量級 須磨周司優勝
四五年	全日本学生優勝大会	無差別級 篠谷政利優勝
四六年	全日本学生選手権大会	二位 (選手権の部) 河原月夫優勝
四七年	全日本学生選手権大会	河原月夫二位 安斎奏人三位 優勝
四八年	全日本学生選手権大会	河原月夫優勝
四九年	全日本学生選手権大会	中量級 原吉実 優勝
五十年	第十九回世界選手権大会	無差別級 上村春樹優勝
五一年	全日本選手権大会	中量級 原吉実 二位
五二年	全日本選抜体重別選手権大会	柔道部七十周年記念祝賀会開催
五三年	モントリオールオリンピック	ブリンスホーテル 十一月
	上村春樹 (重量級 三位)	上村春樹三位
	原 吉実 (中量級 三位)	上村春樹三位
	上村春樹 (無差別 優勝)	上村春樹三位
	佐藤英彦 (軽重量級 優勝)	佐藤英彦 (軽重量級 二位)
	加瀬次郎 (中量級 優勝)	下瀬孝明 (七八K級 優勝)
	全日本学生選手権大会	佐藤英彦 (軽重量級 二位)
	全日本新人選手権大会	ジニア世界
	全日本選手権大会	河原月夫三位



本社 東京都千代田区神田須田町1-23-2
電話(255)8151
電略 KYOHOTORG TOKYO

東京都中央卸売市場大森市場
海老，塩干加工品問屋

海老晃

代表取締役社長 滝本満治
本社 東京都大田区大森本町2丁目2番10号
電話(764) 2876

世界ジヨニ	世界ジヨニ	世界ジヨニ
ア選手権大	ア選手権大	ア選手権大
会	会	会
長谷川敦（八六K級）三位	長谷川敦（八六K級）三位	長谷川敦（八六K級）三位
朝飛 大（八六K級）優勝	中村正浩（七八K級）二位	今堀浩之（六五K級）三位
全日本学生 体重別選手 権大会	全日本学生 体重別選手 権大会	全日本学生 体重別選手 権大会
選手権大会 (団体)	選手権大会 (団体)	選手権大会 (団体)
全日本選抜 体重別大会	全日本選抜 体重別大会	全日本選抜 体重別大会
加瀬次郎（七八K級）二位	加瀬次郎（七八K級）二位	加瀬次郎（七八K級）二位

五 五 年	五 四 年	四 三 年	四 二 年	四 一 年
全日本選手権大会	全日本選手権大会	全日本選手権大会	全日本選手権大会	全日本選手権大会
体重別選手権大会	体重別選手権大会	体重別選手権大会	体重別選手権大会	体重別選手権大会
嘉納杯国際大会	嘉納杯国際大会	嘉納杯国際大会	嘉納杯国際大会	嘉納杯国際大会
全日本新人大会	全日本新人大会	全日本新人大会	全日本新人大会	全日本新人大会

原吉実	(七八K級)	三位
重松義成	(七八K級)	三位
岩田久和	(無差別級)	三位
藤原敬生	(九五K以上級)	一位
薦田文明	(九五K以下級)	三位
上村春樹	(九五K以上級)	一位
原吉実	(七八K級)	三位
河原月夫	(九五K以下級)	三位
栗原美千男	(九五K以上級)	二位
位（無差別級）	三位	
河原月夫	三位	
上村春樹	三位	

五六年
五六七年
五八年
五九年

編集後記

暮もおしまってまいりました。皆様におかれましては何かと氣遣わしい日々をお過しめることと思います。

さて、会報明柔83号をお届けいたします。あわただしい師走の一とき、母校の道場に憶いをはせて下さい。

多忙にもかかわらず、編集部の依頼に答え、原稿を寄せて下さった皆様と、毎度のお願いにもかかわらず、よく広告掲載に応じて下さった方々に、先ず御礼申し上げます。

今回は、はじめての試みとして座談会企画いたしました。素人の司会、編集のため、ひとつ出席各氏の考えを引き出せなかつたかとも思ひ、担当した河田君の奮闘に免じて御寛容下さい。

卷末の明大柔道部歴史は、内容から見てむしろ年表というべきかと思ひますが、念願の部史発刊にはまだまだ時間がかかりそうですので、姿先生の監修をいただいてまとめてみました。手抜きをしたつもりは毛頭ありませんが、短期作業でしたので、ズサンに思われる部分があろうかと思ひます。お気つきの点は、どことし寄せて下さい。部史編さんの方

昭和五九年度前期行事予定	
一月	寒稽古 道場
五月	東京学生体重別選手権大会
六月	全日本学生体重別選手権大会
三日	東京学生柔道優勝大会
七月	
一日	

「明柔」	年二回発行
発行所	(後期三号)
明治大学体育会柔道部	明治大学体育会柔道部
東京都千代田区神田三崎町二一	東京都千代田区神田駿河台一
印 刷 所	明治大学体育課内
工 場	○三一九六七一九三
營業所	○三一二六二一四六
二 一	三五

76

若山石油(株)

代表取締役社長
藤井洋二
(32年度卒)

社会貢献金味賞

〒746 山口県新南陽市富田4142番地
TEL 0834-62-3176

紳士・婦人・子供
各種

帽子のミヤシタ

(宮下光男 27年卒)

東京都葛飾区新小岩1-39-9
新小岩銀座アーケード街

電話 (651) 0691

娯楽の殿堂

みとやホール、
水道橋・神田・鶯谷・浅草・三河島・上野

喫茶・パブ・レストラン
『山の音』、
水道橋・鶯谷・浅草

近くにお越しの場合は
是非お立ち寄り下さい!!

代表取締役 中野一郎

黒潮踊る多彩な海景……
ぜひ男鹿半島へ!

男鹿グランドホテル

代表取締役 鈴木実



秋田県男鹿市北浦湯本字里81

TEL 0185-33-2151 代表



「」をお届けいたします。あわただしい師走のとき、母校の道場に憶いをはせて下さい。

多忙にもかかわらず、編集部の依頼に答え、原稿を寄せて下さった皆様と、毎度のお願いにもかかわらず、よく広告掲載に応じて下さった方々に、先ず御礼申し上げます。

今回は、はじめての試みとして座談会企画いたしました。素人の司会、編集のため、今ひとつ出席各氏の考えを引き出せなかつたかとも思ひ、担当した河田君の奮闘に免じて御寛容下さい。

卷末の明大柔道部歴史は、内容から見てむしろ年表というべきかと思ひますが、念願の部史発刊にはまだまだ時間がかかりそうですので、姿先生の監修をいただいてまとめてみました。手抜きをしたつもりは毛頭ありませんが、短期作業でしたので、ズサンに思われる部分があろうかと思ひます。お気つきの点は、どことし寄せて下さい。部史編さんの方

株式会社富士産業

代表取締役 合藤義明
〒173 板橋区大谷口上町44-11
TEL 03-956-9615(代)
自宅 〒175 板橋区高島3-11-2-1004
TEL 03-975-6604

(株)三建

専務取締役 小川登志雄
(33年度卒)
中央区新川2-10-6
(電) 03-553-7553(代)

「明柔」	年二回発行
発行所	(後期三号)
明治大学体育会柔道部	明治大学体育会柔道部
東京都千代田区神田駿河台一	東京都千代田区神田駿河台一
印 刷 所	明治大学体育課内
工 場	○三一九六七一九三
營業所	○三一二六二一四六
二 一	三五



共同石油株式会社特約店

アスファルト・石油類総合販売

有限会社 男鹿興業社

代表取締役 国 安 千 純
専務取締役 国 安 均



秋田県男鹿市船川港船川字化世沢178
TEL 0185-23-3293(代)

ランドスケープの空間の創造に
「わび・さび」の
落着とダイナミックさを
表現する



山 田
事 業 有 限 公 司

日本公園施設協会会員

S 株式会社 誠 和

代表取締役 高田 誠之助
常務取締役 渡辺 昌照

〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2
八丁堀ビル TEL 553-7201(代)
拠点地：岐阜県恵那郡飛騨町地内
出張所：平塚、流山、船橋

広告総合代理店

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ広告取扱い
CM、デザイン製作、アイディア商品
各種ノベルティ開発販売、市場調査、
コンサルティング業務

新規開拓
(新規取扱い)

雄和企画株式会社

代表取締役 田 中 章 雄
東京都江戸川区西葛西1丁目1号
東京都港区東新橋1-2-11 三陸ビル
電話(03)572-2737(代)



オークニシヤバン株式会社

大 国 伸 夫

東京：〒111 東京都台東区浅草 6-22-13
TEL 03(875)2851

大阪：〒540 大阪市東区常盤町 1-37
TEL 06(945)0920

広島：〒733 広島市西区人道町 13-23
TEL 082(946)0923

パリ：パリ市8区 フォーブルサントノレ通り9番地
TEL (265)2906

育栄管財株式会社

育栄警備保障(株)

社 長 鳴 海 誠 一



本 社 新宿区百人町 1-22-26
TEL (363)6351 代表
三沢市栄町 1-31-142
TEL 01765(3)6678
青森出張所
札幌市豊平区美園4条7丁目(三光ビル)
TEL 011(811)1899



MEIJI UNV. JUDO CLUB
PERIODICALS